BlackBerry UEM

アプリの管理

管理

12.12

目次

アプリ 6

アプリリストへのアプリの追加 7

アプリリストへの一般のアプリの追加 7
- アプリリストへの iOS アプリの追加 7
- アプリリストへの Android アプリの追加 9
- BlackBerry UEM が Android Enterprise デバイス用に設定されていない場合のアプリリストへの Android アプリの追加 11
- アプリリストへの Windows 10 アプリの追加 12
- アプリリストへの BlackBerry 10 アプリの追加 15

アプリリストへの内部アプリの追加 16
- 内部アプリを保存する共有ネットワークの場所の指定 16
- 内部アプリをアプリリストに追加 17
- Android Enterprise デバイス用の内部アプリの追加 19
- 内部アプリの更新 22

デバイスへの Web ショートカットの追加 22
- iOS、macOS、および Android デバイス用アプリショートカットの作成 22
- Android Enterprise デバイス用 Web アプリの作成 23
- Android Enterprise デバイスの Web アプリを更新する 24

アプリ設定の追加または変更 24
- アプリの設定で Android デバイスを管理する 24

ユーザーによる特定のアプリのインストール防止 26

ユーザーによる特定のアプリのインストールを防止する手順 27

制限されたアプリリストへのアプリの追加 27

アプリリストでのアプリの管理 29

アプリリストからのアプリの削除 29

アプリを必須にするかオプションにするかの変更 29

新規アプリおよび更新アプリに関するデバイス通知 30

MDM 制御 アクティベーションを使用した iOS デバイスでのアプリの動作 30

ユーザーのプライバシー アクティベーションを使用した iOS デバイスでのアプリの動作 34

Android Enterprise デバイスでのアプリの動作 36

仕事用プロファイルがない Android デバイスでのアプリの動作 38

Samsung Knox デバイスでのアプリの動作 39

Windows 10 デバイスでのアプリの動作 45

BlackBerry デバイスでのアプリの動作 46

アプリフィードバックの表示 47
- デバイスのすべてのアプリのフィードバックの表示 47
- アプリのすべてのインストールからのフィードバックを表示する 48

アプリグループの管理 48
アプリグループの作成 48
アプリグループの編集 49
ユーザーアカウントに割り当てられたアプリおよびアプリグループのステータスの表示 49
ユーザーグループに割り当てられているアプリの表示 50
アプリリストの表示およびカスタマイズ 50
アプリリストに表示する情報の選択 50
アプリリストのフィルター 50
アプリリストの更新 51
Android Enterprise アプリのアプリケーション権限の更新 51
Android Enterprise アプリのアプリ権限の承諾 52

Microsoft Intune で保護されているアプリの管理 54
BlackBerry UEM を設定して Microsoft Intune と同期する 54
BlackBerry UEM を設定して Microsoft Intune と同期する 54
Microsoft Intune アプリ保護プロファイルの作成 55
Microsoft Intune アプリ保護プロファイル設定 55
共通：Microsoft Intune アプリ保護プロファイル設定 56
iOS ：Microsoft Intune アプリ保護プロファイル設定 59
Android ：Microsoft Intune アプリ保護プロファイル設定 60
Microsoft Intune で管理されているアプリの消去 61

Apple VPP アカウントの管理 62
Apple VPP アカウントの追加 62
Apple VPP アカウントの編集 62
Apple VPP アカウント情報の更新 63
Apple VPP アカウントの削除 63
デバイスへの Apple VPP ライセンスの割り当て 63
Apple VPP ライセンスの割り当ての表示 64

指定したシングルアプリまたは複数のアプリにデバイスを制限 65
アプリロックモードプロファイルを作成 65

個人用アプリリストの表示 67
管理コンソールでの個人用アプリリストの表示 67
個人用アプリコレクションのオフ 68

アプリのレーティングとレビュー 69
すべてのアプリに対するアプリのレーティングおよびレビューの有効と無効の切り替え 69
既存のアプリに関してアプリのレーティングとレビューを有効にする 70
管理コンソールでのアプリレビューの表示 70
アプリのレーティングとレビューの設定を複数のアプリに指定する 71
アプリのレーティングとレビューの削除 71

iOS デバイスでのアプリのレイアウト設定.....72

iOS デバイスでのアプリ通知の管理.....73
アプリごとの通知プロファイルの作成.....73

iOS デバイスの仕事用アプリアイコンの管理.....75
仕事用アプリアイコンのカスタマイズ.....75
iOS 環境の「仕事用アプリ」アプリの無効化.....75

BlackBerry World の組織名の設定.....77

商標などに関する情報.....78

アプリ

デバイスで管理、導入、監視できるアプリのライブラリを作成できます。アプリを導入および管理するため、BlackBerry UEM のアプリリストにアプリを追加し、ユーザーアカウント、ユーザーグループ、またはデバイスグループに割り当てます。

アプリを管理する場合は、次の操作を実行します。

手順	アクション
1	管理およびデバイスに導入する一般アプリ、内部アプリを、アプリリストに追加します。
2	複数のアプリを同時に管理するためのアプリグループを作成します。
3	アプリまたはアプリグループをユーザーアカウント、ユーザーグループ、またはデバイスグループに割り当て、ユーザーがそれらをインストールできるようにします。

アプリを必須にするかオプションにするかを指定することもでき、デバイスおよびアクティベーションタイプに応じて、アプリのデバイスへのインストールを制限できます。

アプリリストへのアプリの追加

アプリリストには、ユーザー、ユーザーグループ、およびデバイスグループに割り当てることができるアプリが含まれます。ロックアイコン で表示されているアプリは、BlackBerry Dynamics アプリです。

メモ： 組織が Office 365 アプリなどのアプリのモバイル管理に Microsoft Intune を使用している場合は、Microsoft Intune アプリ保護プロファイルを作成して、Intune で保護されているアプリをアプリリストに追加する代わりに、ユーザーに割り当てる必要があります。

アプリリストへの一般のアプリの追加

一般のアプリは、App Store オンラインストア、Google Play ストア、Windows Store、または BlackBerry World ストアから入手可能なアプリです。

BlackBerry Dynamics アプリの追加の詳細については、「アプリリストへの一般の BlackBerry Dynamics アプリの追加」を参照してください。

アプリリストへの iOS アプリの追加

一般の iOS アプリをアプリリストに追加する場合、App Store との接続は BlackBerry UEM コンソールを実行しているコンピューターから直接実行されます。組織でプロキシサーバーを使用している場合は、 SSL インターセプト機能が使用されていないことを確認する必要があります。開く必要のあるポートの詳細については、support.blackberry.com/community にアクセスして、記事 52777 を確認してください。

1. メニューバーで［アプリ］をクリックします。
2. をクリックします。
3. ［**App Store**］をクリックします。
4. 検索フィールドで、追加するアプリを検索します。アプリ名、ベンダー、または App Store URL によって検索できます。
5. ドロップダウンリストで、検索対象のストアの国を選択します。
6. ［検索］をクリックします。
7. 検索結果で、［追加］をクリックしてアプリを追加します。
8. アプリリストのアプリをカテゴリでフィルタリングしたり、ユーザーデバイスの仕事用アプリリストでアプリをカテゴリ別に整理したりする場合、アプリのカテゴリを選択できます。［カテゴリ］ドロップダウンリストで、次のいずれかを実行します。

タスク	手順
アプリのカテゴリを選択する	**a.** ドロップダウンリストで、カテゴリを選択します。
アプリのカテゴリを作成する	**a.** カテゴリの名前を入力します。新しいカテゴリがドロップダウンリストに表示され、その横に「新しいカテゴリ」ラベルが表示されます。 **b.** **Enter** キーを押します。 **c.** **Enter** キーを押します。

9. ［アプリのレーティングとレビュー］ドロップダウンリストで、次の操作のいずれかを実行します。アプリの複数のバージョンが存在する場合、指定された設定は、アプリのすべてのバージョンに適用されます。
   - アプリのレーティング、レビューの入力、環境内の他のユーザーが入力した全レビューの閲覧をユーザーに許可する場合は、［パブリックモード］を選択します。
   - アプリのレーティングとレビューの入力のみをユーザーに許可する場合は、［プライベートモード］を選択します。ユーザーは、他のユーザーが入力したレビューを表示できません。レビューは、BlackBerry UEM 管理コンソールで表示できます。
   - アプリの評価、レビューの入力、他のユーザーが入力したレビューの閲覧をユーザーに許可しない場合は、［無効］を選択します。
10. ［サポートされているデバイスのフォームファクター］ドロップダウンリストで、アプリをインストールできるフォームファクターを選択します。例えば、iPad では、そのアプリが「仕事用アプリ」アプリで使用されないようにすることができます。
11. デバイスが BlackBerry UEM から削除されたときに、アプリをデバイスから削除するには、［**BlackBerry UEM** からデバイスが削除されたらアプリをデバイスから削除する］を選択します。このオプションは、必須としてマークされた種別のアプリにのみ適用され、必須アプリのデフォルトのインストールは、プロンプトが 1 回表示されるように設定されます。
12. iOS デバイスのアプリが iCloud オンラインサービスにバックアップされないようにするには［アプリに対する **iCloud** バックアップを無効化］を選択します。このオプションは、必須としてマークされた種別のアプリにのみ適用されます。アプリの種別は、アプリをユーザーまたはグループに割り当てるときに設定します。
13. ［必須アプリのデフォルトのインストール］ドロップダウンリストで、次のいずれかの操作を実行します。
   - ユーザーに対して、iOS デバイスにアプリをインストールするようにプロンプトを 1 回表示する場合は、［一度確認する］を選択します。ユーザーは、このプロンプトを無視しても、後から、BlackBerry UEM Client アプリの［仕事用アプリケーション］画面またはデバイスの仕事用アプリケーションアイコンを使用してアプリをインストールできます。
   - ユーザーに対してプロンプトを表示しない場合は、［確認しない］を選択します。

   デフォルトのインストール方法は、必須としてマークされた種別のアプリにのみ適用されます。アプリの種別は、アプリをユーザーまたはグループに割り当てるときに設定します。
14. ［インストールされた個人用アプリを仕事用アプリに変換する］ドロップダウンリストで、次のいずれかを選択します。
   - 既にインストールされているアプリを仕事用アプリに変換する場合は、［変換］を選択します。アプリをユーザーに割り当てた後、そのアプリを仕事用アプリに変換して、BlackBerry UEM で管理することができます。
   - 既にインストールされているアプリを仕事用アプリに変換しない場合は、［変換しない］を選択します。アプリをユーザーに割り当てると、そのアプリは BlackBerry UEM で管理できなくできます。
15. アプリの設定（例えば、接続情報など）を事前に設定できる場合、アプリベンダーから設定の詳細を取得し、必要に応じて次のアクションを実行します。

   a) ［アプリの設定］表で、次のタスクのいずれかを完了します。

タスク	手順
XML テンプレートからアプリの設定を作成する	**1.** ＋ > ［テンプレートから作成］をクリックします。 **2.** ［参照］をクリックして、追加するテンプレートを選択します。 **3.** ［アップロード］をクリックします。 **4.** 各設定で、設定する値を入力します。 アプリ設定 .xml テンプレートの詳細については、http://www.appconfig.org/ios/にアクセスしてください。
別のアプリ設定をコピーする	**1.** ＋ > ［アプリ設定からコピー］をクリックします。 **2.** ［コピー元］ドロップダウンリストで、コピーするアプリ設定を選択します。 **3.** 各設定で、キー名または値を編集します。
アプリ設定を手動で作成する	**1.** ＋ > ［手動で設定］をクリックします。 **2.** 追加する設定ごとに ＋ をクリックし、設定の値タイプを選択します。 **3.** 各設定で、キー名と設定する値を入力します。

b) ［アプリ設定名］フィールドに名前を入力します。
c) ［保存］をクリックします。
d) 必要に応じて、矢印を使用してプロファイルを上下に移動してランク付けします。異なる複数のアプリ設定がアプリに割り当てられている場合、ランクの高いアプリ設定が適用されます。

16. ［追加］をクリックします。

アプリリストへの **Android** アプリの追加

Android Enterprise デバイスのサポートを設定した場合、設定した Google への接続により、BlackBerry UEM は Google Play からアプリ情報を取得できます。Google Play への接続は BlackBerry UEM コンソールを実行しているコンピューターから直接作成されます。組織でプロキシサーバーを使用している場合は、 SSL インターセプト機能が使用されていないことを確認する必要があります。開く必要のあるポートの詳細については、support.blackberry.com/community にアクセスして、記事 52777 を確認してください。Android Enterprise デバイスをサポートするための BlackBerry UEM の設定の詳細については、「オンプレミスの設定関連の資料」または「クラウドの設定関連の資料」を参照してください。

Android Enterprise デバイスをサポートしないように BlackBerry UEM が設定されている場合は、「BlackBerry UEM が Android Enterprise デバイス用に設定されていない場合のアプリリストへの Android アプリの追加」を参照してください。

Samsung Knox Workspace で Google Play を使用してアプリを管理するには、デバイスに Samsung Knox 2.7.1 以降がインストールされている必要があり、アクティベーションプロファイルで Samsung Knox Workspace デバイスの Google Play アプリ管理を許可する必要があります。

メモ： BlackBerry Hub + および Divide Productivity に適用可能な設定は、メールプロファイルにあり、アプリ設定のアプリ構成で利用できます。メールプロファイルとアプリ構成においてアプリ設定を構成する場合、両方が割り当てられていれば、アプリ構成が優先されます。

1. メニューバーで［アプリ］をクリックします。

2. をクリックします。
3. ［**Google Play**］をクリックします。
4. 左側のナビゲーションメニューで、 をクリックします。
5. 追加するアプリを検索するか、ストアのホームページでアプリを選びます。
6. アプリを選択します。
7. ［承認］をクリックします。
8. ユーザーに代わってアプリの権限を承諾するには、［承認］をクリックします。アプリの権限を承諾して、必要なアプリが Android Enterprise デバイスまたは Knox Workspace に自動的にインストールされるようにする必要があります。管理者がユーザーに代わってアプリ権限を承諾しない場合、アプリを BlackBerry UEM で管理することはできません。
9. 更新されたアプリがある場合、［承諾設定］タブでアプリの権限の新しいリクエストを処理する方法を選択します。
   - アプリベンダーにより追加された新しい権限を自動的に承諾するには、［アプリが新しい権限をリクエストしたときに承認し続ける］を選択します。
   - 新しいデバイスにアプリを送信する前に、アプリベンダーによって追加される新しいアプリ権限を手動で承諾しなおすには、［このアプリが新しい権限をリクエストしたときにアプリの承認を取り消す］を選択します。アプリ権限の更新の詳細については、「Android Enterprise アプリのアプリケーション権限の更新」を参照してください。
10. ［通知］タブで［このアプリが新しい権限をリクエストしたときにアプリの承認を取り消す］オプションを選択した場合は、アプリの権限が変更されたときに通知を受け取るユーザーを追加します。ユーザーがアプリにアクセスするには、管理者がアプリを再承認する必要があります。
11. ［完了］をクリックします。
12. ［アプリの説明］フィールドで、アプリの説明を入力します。
13. アプリのスクリーンショットを追加するには、［追加］をクリックして、スクリーンショットを参照します。サポートされている画像タイプは、.jpg、.jpeg、.png、または .gif です。
14. ランタイムアプリの権限を制御するには、［アプリの権限の設定］をクリックします。各権限について、次のいずれかを選択します。
   - 付与
   - 拒否
   - アプリの権限ポリシーの使用
15. ［保存］をクリックします。
16. ［送信先］ドロップダウンリストで、次の操作のいずれかを実行します。
   - アプリをすべての Android デバイスに送信する場合は、［すべての **Android** デバイス］を選択します。
   - Samsung Knox Workspace を使用する Android デバイスのみにアプリを送信する場合、［**Samsung KNOX Workspace** デバイス］を選択します。
   - Android Enterprise デバイスにのみアプリを送信する場合は、［仕事用プロファイルがある **Android** デバイス］を選択します。
17. Android Enterprise デバイスでアプリを自動的に更新する場合は、**[**利用可能な更新時に **Android** エンタープライズデバイスでアプリを自動更新する**]**を選択します。
18. 設定をサポートするアプリの場合、［アプリの設定］表が表示されます。アプリ設定を作成する場合、次の手順に従います。
   a) ＋ をクリックして、アプリ設定を追加します。
   b) アプリの設定の名前を入力し、使用する設定を指定します。

c) ［保存］をクリックします。
d) 必要に応じて、矢印を使用してプロファイルを上下に移動してランク付けします。異なる複数のアプリ設定がアプリに割り当てられている場合、ランクの高いアプリ設定が適用されます。

19. アプリリストのアプリをカテゴリでフィルタリングしたり、ユーザーデバイスの仕事用アプリリストでアプリをカテゴリ別に整理したりする場合、アプリのカテゴリを選択できます。［カテゴリ］ドロップダウンリストで、次のいずれかを実行します。

タスク	手順
アプリのカテゴリを選択する	**a.** ドロップダウンリストで、カテゴリを選択します。
アプリのカテゴリを作成する	**a.** カテゴリの名前を入力します。新しいカテゴリがドロップダウンリストに表示され、その横に「新しいカテゴリ」ラベルが表示されます。 **b.** **Enter** キーを押します。

20. ［アプリのレーティングとレビュー］ドロップダウンリストで、次の操作のいずれかを実行します。アプリの複数のバージョンが存在する場合、指定された設定は、アプリのすべてのバージョンに適用されます。

- アプリのレーティング、レビューの入力、環境内の他のユーザーが入力した全レビューの閲覧をユーザーに許可する場合は、［パブリックモード］を選択します。
- アプリのレーティングとレビューの入力のみをユーザーに許可する場合は、［プライベートモード］を選択します。ユーザーは、他のユーザーが入力したレビューを表示できません。レビューは、BlackBerry UEM 管理コンソールで表示できます。
- アプリの評価、レビューの入力、他のユーザーが入力したレビューの閲覧をユーザーに許可しない場合は、［無効］を選択します。

21. ［追加］をクリックします。

BlackBerry UEM が Android Enterprise デバイス用に設定されていない場合のアプリリストへの Android アプリの追加

BlackBerry UEM が Android Enterprise をサポートするように設定されていない場合は、次の手順を使用します。

Android Enterprise デバイスをサポートするように BlackBerry UEM が設定されている場合、「アプリリストへの Android アプリの追加」を参照してください。

1. メニューバーで［アプリ］をクリックします。
2. をクリックします。
3. ［**Google Play**］をクリックします。
4. ［**Google Play** を開く］をクリックし、追加するアプリを検索します。その後、次の手順で Google Play から情報をコピーして貼り付け、アイコンとスクリーンショットをダウンロードできます。
5. ［アプリ名］フィールドにアプリ名を入力します。
6. ［アプリの説明］フィールドで、アプリの説明を入力します。
7. アプリリストのアプリをカテゴリでフィルタリングしたり、ユーザーデバイスの仕事用アプリリストでアプリをカテゴリ別に整理したりする場合、アプリのカテゴリを選択できます。［カテゴリ］ドロップダウンリストで、次のいずれかを実行します。

タスク	手順
アプリのカテゴリを選択する	**a.** ドロップダウンリストで、カテゴリを選択します。
アプリのカテゴリを作成する	**a.** カテゴリの名前を入力します。新しいカテゴリがドロップダウンリストに表示され、その横に「新しいカテゴリ」ラベルが表示されます。 **b.** **Enter** キーを押します。 **c.** **Enter** キーを押します。

8. ［アプリのレーティングとレビュー］ドロップダウンリストで、次の操作のいずれかを実行します。アプリの複数のバージョンが存在する場合、指定された設定は、アプリのすべてのバージョンに適用されます。
   - アプリのレーティング、レビューの入力、環境内の他のユーザーが入力した全レビューの閲覧をユーザーに許可する場合は、［パブリックモード］を選択します。
   - アプリのレーティングとレビューの入力のみをユーザーに許可する場合は、［プライベートモード］を選択します。ユーザーは、他のユーザーが入力したレビューを表示できません。レビューは、BlackBerry UEM 管理コンソールで表示できます。
   - アプリの評価、レビューの入力、他のユーザーが入力したレビューの閲覧をユーザーに許可しない場合は、［無効］を選択します。
9. ［ベンダー］フィールドに、アプリベンダーの名前を入力します。
10. ［アプリアイコン］フィールドで、［参照］をクリックします。アプリのアイコンを見つけて選択します。サポートされている形式は、.png、.jpg、.jpeg、または .gif です。Google Chrome を使用してアイコンをダウンロードしないでください。互換性のない .webp 画像がダウンロードされてしまうためです。
11. ［**Google Play** からのアプリの **Web** アドレス］フィールドで、Google Play 内のアプリの Web アドレスを入力します。
12. アプリのスクリーンショットを追加するには、［追加］をクリックして、スクリーンショットを参照します。サポートされている画像タイプは、.jpg、.jpeg、.png、または .gif です。
13. ［送信先］ドロップダウンリストで、次の操作のいずれかを実行します。
   - アプリをすべての Android デバイスに送信する場合は、［すべての **Android** デバイス］を選択します。
   - Samsung Knox Workspace を使用する Android デバイスのみにアプリを送信する場合、［**KNOX Workspace** デバイスのみ］を選択します。
14. ［追加］をクリックします。

アプリリストへの Windows 10 アプリの追加

アプリリストに Windows 10 アプリを追加するには、Windows Store for Business でアプリのカタログを管理してから、そのアプリを BlackBerry UEM に同期する必要があります。新しいアプリがアプリカタログに追加されたときに、アプリを BlackBerry UEM とすぐに同期することも、BlackBerry UEM が自動的に同期するまで待機することもできます。BlackBerry UEM は 24 時間ごとにアプリカタログを同期します。

ユーザーが Windows Store for Business アプリカタログからオフラインまたはオンラインアプリをインストールすることを許可できます。オフラインアプリは、アプリカタログと同期するときに、BlackBerry UEM によってダウンロードされます。オフラインアプリはすべての管理を BlackBerry UEM から実行でき、ユーザーは Windows Store for Business に接続せずにインストールできるので、オフラインアプリの使用をお勧めします。アプリがインストールされると、デバイスは Windows Store からアプリの更新を受信します。

オンラインアプリは、Windows Store for Business から直接ダウンロードされます。必要なオンラインアプリをデバイスに送信するには、Windows 10 で仕事用アカウントを［他のアプリで使用されるアカウント］に追加するよう、ユーザーに指示します。

作業を始める前に：

- オンプレミス環境がある場合は、オフラインアプリを保存するため、内部アプリを保存する共有ネットワークの場所の指定 を行います。
- Windows Store for Business と同期するための BlackBerry UEM の設定

1. メニューバーで［アプリ］をクリックします。
2. をクリックします。
3. ［**Windows** ストア］ > ［**10**］をクリックします。
4. ［アプリを同期］をクリックします。

Windows Store for Business と同期するための **BlackBerry UEM** の設定

Windows 10 アプリを管理する場合は、Windows 10 アプリをアプリリストに追加する前に、BlackBerry UEM を Windows Store for Business と同期するよう設定する必要があります。

後で Windows Store for Business の接続を削除すると、BlackBerry UEM と同期されているすべての Windows 10 アプリが削除され、アプリはユーザーとグループから割り当て解除されます。

BlackBerry UEM を設定して Windows Store for Business と同期するには、次の操作を実行します。

手順	アクション
1	Microsoft Azure アカウントを作成します。詳細については、「オンプレミスの設定関連の資料」または「クラウドの設定関連の資料」を参照してください。
2	Microsoft Active Directory と Microsoft Azure を同期します。詳細については、「オンプレミスの設定関連の資料」または「クラウドの設定関連の資料」を参照してください。
3	Azure でエンタープライズエンドポイントを作成します。詳細については、「オンプレミスの設定関連の資料」または「クラウドの設定関連の資料」を参照してください。
4	Windows Store for Business と同期するための BlackBerry UEM の設定.
5	Windows Store for Business の管理者の作成.

Windows Store for Business と同期するための **BlackBerry UEM** の設定

作業を始める前に： Microsoft Azure アカウントを作成します。

1. BlackBerry UEM 管理コンソールにログインします。
2. ［設定］ > ［アプリ管理］ > ［**Windows 10** アプリ］に移動します。
3. Azure でエンタープライズアプリケーションを作成したときに Azure ポータルからコピーした情報を入力します。

- クライアント **ID**：Azure アプリケーションの登録によって生成されたアプリケーション ID
- クライアントキー：Azure アプリケーションの登録によって生成されたクライアントシークレット
- **OAUTH 2.0** トークンエンドポイント：認証トークンを要求するためのテナント固有の OAuth エンドポイントの URL
- ユーザー名：Intune にアクセスするための BlackBerry UEM 管理者のユーザー名。
- パスワード：ユーザー名のパスワード

4. ［次へ］をクリックします。

終了したら： Windows Store for Business の管理者の作成。

Windows Store for Business の管理者の作成

デバイス上の Windows 10 アプリを管理するには、Windows Store for Business でアプリカタログを作成し、アプリを BlackBerry UEM と同期する必要があります。Windows Store for Business でカタログを作成するには、ストアにログインするために 1 つ以上の管理者アカウントを作成する必要があります。

作業を始める前に：

- Microsoft Azure アカウントを作成します。
- Azure でエンタープライズエンドポイントを作成します。
- Windows Store for Business と同期するための BlackBerry UEM の設定.

1. Microsoft Azure ポータルで、［**Microsoft Azure**］ **>** ［**Azure Active Directory**］ **>** ［ユーザーとグループ ］**>** ［すべてのユーザー］に移動します。

2. ［ユーザーを追加］をクリックします。

3. 画面で、必要なユーザー情報を入力します。

4. ［ディレクトリの役割］の横の矢印をクリックし、［グローバル管理］を選択して、［**OK**］をクリックします。

5. パスワードを作成するか、［パスワードの表示］を選択し、生成されたパスワードをコピーします。

6. ［作成］をクリックします。

7. ［**Azure Active Directory**］ **>** ［エンタープライズアプリケーション］ **>** ［すべてのアプリケーション］をクリックし、作成したエンタープライズアプリケーションを選択します。

8. 作成したグローバル管理者アカウントを、アプリケーションのユーザーとして追加します。

Windows Store for Business でのアプリの有効化

作業を始める前に：

- Windows Store for Business と同期するための BlackBerry UEM の設定。
- Windows Store for Business の管理者の作成

1. 作成したグローバル管理アカウントを使用して、Windows Store for Business にログインします。

2. ［管理］ **>** ［設定］ **>** ［配布］をクリックします。

3. ［管理ツールを追加］をクリックします。

4. Windows Store for Business と同期する MDM ツールとして作成したアプリを選択します。

5. ［アクティブにする］をクリックします。

ユーザーによるオンライン **Windows 10** アプリのインストールの許可

ユーザーがオンライン Windows 10 アプリをインストールできるようにするには、ユーザーが Microsoft Azure ディレクトリに存在し、BlackBerry UEM にあるユーザーのメールアドレスが Microsoft Azure AD にあるユーザーのメールアドレスと一致する必要があります。ディレクトリは、Microsoft Azure AD Connect を使用して Microsoft Azure に同期できます。手順の詳細については、「オンプレミスの設定関連の資料」または「クラウドの設定関連の資料」を参照してください。

メモ：必要なオンラインアプリをデバイスに送信するには、Windows 10 で仕事用アカウントを［他のアプリで使用されるアカウント］に追加するよう、ユーザーに指示します。

Windows 10 アプリのアプリカテゴリの追加

アプリのカテゴリを設定した後、アプリリストにおいてカテゴリでアプリをフィルターし、ユーザーのデバイス上の仕事用アプリリストにおいてアプリをカテゴリに整理できます。Windows 10 アプリが BlackBerry UEM に同期された後、アプリカテゴリをそのアプリに割り当てることができます。

作業を始める前に：アプリリストへの Windows 10 アプリの追加。

1. メニューバーで［アプリ］をクリックします。
2. アプリカテゴリを割り当てるアプリをクリックします。
3. ［カテゴリ］ドロップダウンリストで、次のいずれかを実行します。

手順	説明
アプリのカテゴリを選択する	**a.** ドロップダウンリストで、カテゴリを選択します。
アプリのカテゴリを作成する	**a.** カテゴリの名前を入力します。「新規カテゴリ」メッセージがドロップダウンリストの新しいカテゴリラベルの横に表示されます。 **b.** **Enter** キーを押します。 **c.** **Enter** キーを押します。

4. ［保存］をクリックします。

アプリリストへの **BlackBerry 10** アプリの追加

1. メニューバーで［アプリ］をクリックします。
2. をクリックします。
3. ［**BlackBerry World**］をクリックします。
4. 検索フィールドで、追加するアプリを検索します。アプリ名、ベンダー、または BlackBerry World URL によって検索できます。
5. ドロップダウンリストで、検索対象のストアの国を選択します。
6. ［検索］をクリックします。
7. 検索結果で、［追加］をクリックしてアプリを追加します。
8. アプリリストの BlackBerry 10 アプリをカテゴリでフィルタリングするために、アプリのカテゴリを選択できます。［カテゴリ］ドロップダウンリストで、次のいずれかを実行します。

タスク	手順
アプリのカテゴリを選択する	**a.** ドロップダウンリストで、カテゴリを選択します。
アプリのカテゴリを作成する	**a.** カテゴリの名前を入力します。新しいカテゴリがドロップダウンリストに表示され、その横に「新しいカテゴリ」ラベルが表示されます。 **b.** **Enter** キーを押します。 **c.** **Enter** キーを押します。

9. アプリ情報の画面で、［追加］をクリックします。

アプリリストへの内部アプリの追加

内部アプリには、組織によって開発された独自のアプリ、および組織が独占的に使用するためのアプリが含まれます。内部アプリは、一般のアプリストアからは BlackBerry UEM に追加されません。

iOS アプリは .ipa ファイル、Android アプリは .apk ファイル、Windows 10 アプリは .xap ファイルまたは .appx ファイル、および BlackBerry 10 アプリは .bar ファイルである必要があります。内部アプリは、必ず署名付きで、変更することはできません。

オンプレミス環境で内部アプリを追加する場合は、最初に内部アプリを保存する共有ネットワークの場所の指定する必要があります。

デバイス内で内部アプリは次の場所にあります。

- iOS、および Android デバイスの場合、BlackBerry UEM Client アプリの割り当てられた仕事用アプリリスト内
- BlackBerry 10 デバイスの場合、仕事用 BlackBerry World の［会社のアプリ］タブ内

BlackBerry Dynamics アプリの詳細については、「内部 BlackBerry Dynamics アプリの権限の追加」を参照してください。

内部アプリを保存する共有ネットワークの場所の指定

オンプレミス BlackBerry UEM 環境がある場合、内部アプリを使用可能なアプリリストに追加する前に、アップロードするアプリソースファイルを保存するための共有ネットワークの場所を指定する必要があります。内部ネットワークを継続して使用できるように確保するため、このネットワークの場所は高可用性ソリューションを備え、定期的にバックアップする必要があります。また、BlackBerry UEM のインストールフォルダー内には共有ネットワークフォルダーを作成しないでください。BlackBerry UEM をアップグレードすると削除されます。BlackBerry UEM Cloud を使用している場合は、アプリファイル用にネットワークの場所を指定する必要はありません。

作業を始める前に：

- BlackBerry UEM をホストするネットワーク上に、共有ネットワークフォルダーを作成し、内部アプリのソースファイルを保存します。
- BlackBerry UEM をホストするコンピューターのサービスアカウントに、共有ネットワークフォルダーへの読み取り権限と書き込み権限があることを確認します。

1. メニューバーで［設定］をクリックします。

2. 左ペインで、［アプリ管理］を展開します。

3. ［内部アプリのストレージ］をクリックします。
4. ［ネットワーク上の場所］フィールドに、次の形式で、共有ネットワークフォルダーのパスを入力します。

   \\<コンピューター名>\<共有ネットワークフォルダー>

   共有ネットワークパスは、UNC 形式で入力する必要があります（例：\\ComputerName\Applications\InternalApps）。
5. ［保存］をクリックします。

内部アプリをアプリリストに追加

この手順に従って、すべてのデバイスに内部アプリを追加します。Android Enterprise デバイスの場合は、代わりに Google Play で新しいアプリをホストできます。詳細については、「Android Enterprise デバイス用の内部アプリの追加」を参照してください。

作業を始める前に： オンプレミス BlackBerry UEM 環境がある場合は、内部アプリを保存する共有ネットワークの場所の指定 を行います。

1. メニューバーで［アプリ］をクリックします。
2. をクリックします。
3. ［内部アプリ］をクリックします。
4. ［参照］をクリックします。追加または更新するアプリへ移動します。
5. ［開く］をクリックします。
6. ［追加］をクリックします。
7. オプションで、ベンダー名とアプリの説明を追加します。
8. アプリの画面キャプチャを追加するには、［追加］をクリックします。画面キャプチャを参照します。サポートされている画像タイプは、.jpg、.jpeg、.png、または .gif です。
9. iOS アプリを追加する場合は、次の操作を実行します。
   a) ［サポートされているデバイスのフォームファクター］ドロップダウンリストで、アプリをインストールできるフォームファクターを選択します。例えば、iPad では、そのアプリが「仕事用アプリ」アプリで使用されないようにすることができます。
   b) デバイスが BlackBerry UEM から削除されたときに、アプリをデバイスから削除するには、［**BlackBerry UEM** からデバイスが削除されたらアプリをデバイスから削除する］を選択します。このオプションは、必須としてマークされた種別のアプリにのみ適用され、必須アプリのデフォルトのインストールは、プロンプトが 1 回表示されるように設定されます。
   c) iOS デバイスのアプリが iCloud オンラインサービスにバックアップされないようにするには［アプリに対する **iCloud** バックアップを無効化］を選択します。このオプションは、必須としてマークされた種別のアプリにのみ適用されます。アプリの種別は、アプリをユーザーまたはグループに割り当てるときに設定します。
   d) iOS デバイスにアプリをインストールすることを求めるプロンプトを 1 回表示する場合は、［必須アプリのデフォルトのインストール方法］ドロップダウンリストで、［一度確認する］を選択します。ユーザーは、このプロンプトを無視しても、後から、BlackBerry UEM Client アプリの仕事用アプリリストまたはデバイスの仕事用アプリアイコンからアプリをインストールできます。
10. Android アプリを追加する場合、アプリのランタイムアプリの権限を設定できます。［アプリの権限の設定］をクリックし、アプリが要求する各権限について、権限を許可または拒否するか、アプリの権限ポリシーを使用するかを指定して、［保存］をクリックします。
11. Android アプリを追加する場合は、［送信先］ドロップダウンリストで、次のいずれかの操作を実行します。
    - アプリをすべての Android デバイスに送信する場合は、［すべての **Android** デバイス］を選択します。

- Samsung Knox Workspace を使用する Android デバイスのみにアプリを送信する場合、［**Samsung KNOX Workspace** デバイス］を選択します。
- Android Enterprise デバイスにのみアプリを送信する場合は、［仕事用プロファイルがある Android デバイス］を選択します。

12. アプリリストのアプリをカテゴリでフィルタリングしたり、ユーザーデバイスの仕事用アプリリストでアプリをカテゴリ別に整理したりする場合、アプリのカテゴリを選択できます。［カテゴリ］ドロップダウンリストで、次のいずれかを実行します。

タスク	手順
アプリのカテゴリを選択する	**a.** ドロップダウンリストで、カテゴリを選択します。
アプリのカテゴリを作成する	**a.** カテゴリの名前を入力します。［新しいカテゴリ］がドロップダウンリストに表示され、その横に新しいカテゴリのラベルが表示されます。 **b.** **Enter** キーを押します。 **c.** **Enter** キーを押します。

13. ［アプリのレーティングとレビュー］ドロップダウンリストで、次の操作のいずれかを実行します。アプリの複数のバージョンが存在する場合、指定された設定は、アプリのすべてのバージョンに適用されます。

- アプリのレーティング、レビューの入力、環境内の他のユーザーが入力した全レビューの閲覧をユーザーに許可する場合は、［パブリックモード］を選択します。
- アプリのレーティングとレビューの入力のみをユーザーに許可する場合は、［プライベートモード］を選択します。ユーザーは、他のユーザーが入力したレビューを表示できません。レビューは、BlackBerry UEM 管理コンソールで表示できます。
- アプリの評価、レビューの入力、他のユーザーが入力したレビューの閲覧をユーザーに許可しない場合は、［無効］を選択します。

14. 設定をサポートするアプリの場合、［アプリの設定］表が表示されます。＋ をクリックして、アプリ設定を追加します。詳細については、「アプリ設定の追加または変更」を参照してください。

15. ［追加］をクリックします。.json ファイルを使用して BlackBerry UEM でアプリをホストする場合は、表示された URL をコピーして保存します。

終了したら： Android Enterprise デバイスのアプリを追加する場合は、次のタスクのいずれかを完了させます。

- .apk ファイルを使用して Android Enterprise デバイス用の内部アプリを Google Play 内でホストする
- .json ファイルを使用した BlackBerry UEM での Android Enterprise デバイスの内部アプリのホスト

.apk ファイルを使用して **Android Enterprise** デバイス用の内部アプリを **Google Play** 内でホストする

Google Play でアプリをホストする場合、設定を使用してアプリの動作を変更し、アプリを必須またはオプションに設定することができます。Google Play でアプリをホストするには、アプリを Google Play に公開する必要があります。こうすることで、ユーザーは内部アプリを自身のデバイスにインストールすることができます。

作業を始める前に：

- BlackBerry UEM で、アプリリストに内部 .apk ファイルを追加します。［**Android Enterprise** 用のアプリを有効化］オプションを選択し、［アプリは次にホストされます：］ドロップダウンリストで［**Google Play**］をクリックします。

メモ：すべての Android デバイスに対してアプリをホストしている場合でも、［**Android Enterprise** 用のアプリを有効化］を選択する必要があります。

- Google Developers Console にログインするには、アカウントが必要です。Android Enterpriseが設定されている場合、仕事用プロファイルの設定に使用した開発者アカウントに、同じメールアドレスを使用します。BlackBerry UEM ドメインごとに、異なる開発者アカウントが必要です。

.apk ファイルを使用して、BlackBerry UEM で Android Enterpriseデバイス向けの内部アプリをホストする手順については、https://support.blackberry.com/community にアクセスして記事 47873 を参照してください。

.json ファイルを使用した **BlackBerry UEM** での **Android Enterprise** デバイスの内部アプリのホスト

Android Enterprise で BlackBerry UEM デバイス向けの内部アプリをホストするには、アプリの .json ファイルを生成して Google Play にアップロードし、公開されたアプリのライセンスキーを取得する必要があります。BlackBerry UEM でホストされているアプリは、オプションとしてのみ設定することができます。設定を使用して、アプリの機能や動作を変更することはできません。

作業を始める前に：

- OpenSSL、JDK、Python 2.x、および Android Asset Packaging Tool （aapt）がコンピューター上のパスにインストールされていることを確認します。
- Google Developers Console にログインするには、アカウントが必要です。Android Enterprise のサポートを設定している場合、Android Enterprise の設定に使用した開発者アカウントに、同じメールアドレスを使用します。BlackBerry UEM ドメインごとに、異なる開発者アカウントが必要です。
- BlackBerry UEM で、内部アプリをアプリリストに追加します。［**Android Enterprise** のアプリを有効化］オプションを選択し、［アプリは次にホストされます：］ドロップダウンリストで［**BlackBerry UEM**］をクリックします。BlackBerry UEM に表示されている URL をコピーして保存します。
  メモ：すべての Android デバイスに対してアプリをホストしている場合でも、［**Android Enterprise** 用のアプリを有効化］を選択する必要があります。

.json ファイルを使用した BlackBerry UEM での Android Enterprise デバイスの内部アプリをホストし更新する手順については、https://support.blackberry.com/community にアクセスして記事 47768 を参照してください。

Android Enterprise デバイス用の内部アプリの追加

内部アプリは 3 つの方法で Android Enterprise デバイスに追加できます。選択する方法は、組織のニーズによって異なります。

オプション	説明
Android Enterprise デバイス用アプリリストへのプライベートアプリの追加	Google Play で新しい内部アプリをすばやくホストするオプションです。このオプションは Android Enterprise デバイスのみをサポートしています。アプリを他の Android デバイスで使用できるようにする場合は、このオプションに加えて、またはこのオプションの代わりに、他のオプションのいずれかを使用する必要があります。このオプションでは、Google から開発者アカウントを購入する必要はありません。

オプション	説明
.apk ファイルを使用して Android Enterprise デバイス用の内部アプリを Google Play 内でホストする	Google Play にプライベートアプリを追加する機能は、Android Enterprise デバイス用の内部アプリを追加するこの方法に代わるものです。プライベートアプリを追加する機能が追加される前に、BlackBerry UEM に追加されたアプリについては、Google Play で内部アプリを引き続きホストする必要があります。また、この方法を使用して、Android Enterprise を使用するためにアクティブ化されていない Android デバイスの Google Play でアプリをホストする必要があります。
.json ファイルを使用した BlackBerry UEM での Android Enterprise デバイスの内部アプリのホスト	Google Play に apk ファイルをアップロードしたくない場合は、この方法を使用して内部アプリを追加します。この方法を使用すると、ファイルは BlackBerry UEM によって保存されます。

Android Enterprise デバイス用アプリリストへのプライベートアプリの追加

Android Enterprise デバイスに導入する内部アプリを Google Play に追加するには、次の手順を実行します。

プライベートアプリでは、アプリリストの［ベンダー］フィールドに 記号と Android Enterprise 組織名を表示します。

作業を始める前に： オンプレミス BlackBerry UEM 環境がある場合は、内部アプリを保存する共有ネットワークの場所の指定 を行います。

1. メニューバーで［アプリ］をクリックします。
2. をクリックします。
3. ［**Google Play**］をクリックします。
4. 左側のナビゲーションメニューで、 をクリックします。
5. をクリックします。
6. ［タイトル］フィールドに、デバイスに表示されるテキストを入力します。
7. 追加するアプリへ移動して、［開く］をクリックします。
8. ［作成］をクリックします。

   Web アプリが Google Play で作成され、アプリがプライベートアプリタブに表示されます。Google Play は数分かけて.apk ファイルをアップロードおよび検証して、BlackBerry UEM にアプリの準備ができたことを通知します。UEM が apk ファイルを受信すると、アプリをアプリリストに自動的に追加します。
9. アプリの説明やアイコンを追加したり、Google Play でアプリの詳細を指定したりするには、［高度な編集を行う］をクリックし、Google Play にログインして必要な変更を加えます。
10. ［プライベートアプリ］タブで、追加したアプリをクリックし、［選択］をクリックします。
11. ［アプリの説明］フィールドで、アプリの説明を入力します。
12. アプリのスクリーンショットを追加するには、［追加］をクリックして、スクリーンショットを参照します。サポートされている画像タイプは、.jpg、.jpeg、.png、または .gif です。
13. Android Enterprise デバイスでアプリを自動的に更新する場合は、［利用可能な更新時に **Android** エンタープライズデバイスでアプリを自動更新する］を選択します。
14. 設定をサポートするアプリの場合、［アプリの設定］表が表示されます。アプリ設定を作成する場合、次の手順に従います。

a) ＋ をクリックして、アプリ設定を追加します。
b) アプリの設定の名前を入力し、使用する設定を指定します。
c) ［保存］をクリックします。
d) 必要に応じて、矢印を使用してプロファイルを上下に移動してランク付けします。異なる複数のアプリ設定がアプリに割り当てられている場合、ランクの高いアプリ設定が適用されます。

15. アプリリストのアプリをカテゴリでフィルタリングしたり、ユーザーデバイスの仕事用アプリリストでアプリをカテゴリ別に整理したりする場合、アプリのカテゴリを選択できます。［カテゴリ］ドロップダウンリストで、次のいずれかを実行します。

タスク	手順
アプリのカテゴリを選択する	**a.** ドロップダウンリストで、カテゴリを選択します。
アプリのカテゴリを作成する	**a.** カテゴリの名前を入力します。新しいカテゴリがドロップダウンリストに表示され、その横に「新しいカテゴリ」ラベルが表示されます。 **b.** **Enter** キーを押します。

16. ［アプリのレーティングとレビュー］ドロップダウンリストで、次の操作のいずれかを実行します。アプリの複数のバージョンが存在する場合、指定された設定は、アプリのすべてのバージョンに適用されます。

- アプリのレーティング、レビューの入力、環境内の他のユーザーが入力した全レビューの閲覧をユーザーに許可する場合は、［パブリックモード］を選択します。
- アプリのレーティングとレビューの入力のみをユーザーに許可する場合は、［プライベートモード］を選択します。ユーザーは、他のユーザーが入力したレビューを表示できません。レビューは、BlackBerry UEM 管理コンソールで表示できます。
- アプリの評価、レビューの入力、他のユーザーが入力したレビューの閲覧をユーザーに許可しない場合は、［無効］を選択します。

17. ［追加］をクリックします。

終了したら： 対象アプリが BlackBerry Dynamics アプリである場合、そのアプリの BlackBerry Dynamics アプリの権限を作成し、アプリと権限の両方をユーザーに割り当てます。詳細については、「内部 BlackBerry Dynamics アプリの権限の追加」を参照してください。

Android Enterprise デバイスのプライベートアプリを更新する

プライベートアプリを新しいバージョンの .apk ファイルで更新し、Google Play でアプリ情報を更新できます。

1. メニューバーで［アプリ］をクリックします。
2. をクリックします。
3. ［**Google Play**］をクリックします。
4. 左側のナビゲーションメニューで、 をクリックします。
5. 更新するアプリをクリックします。
6. ［編集］をクリックします。
7. .apk ファイルを更新されたバージョンに置き換えるには、ファイル名の横にある［編集］をクリックして、新しいファイルをアップロードします。
8. Google Play でアプリの設定を更新するには、［高度な編集を行う］をクリックし、必要な変更を行います。
9. ［保存］をクリックします。

内部アプリの更新

内部アプリを更新すると、更新されたアプリは、現在ユーザーおよびグループに割り当てられたアプリと置き換えられます。BlackBerry デバイスはアプリのバージョンを自動的に更新します。他のデバイスは、新しいアプリのバージョンのインストールを指示するプロンプトをユーザーに表示する場合があります。

メモ：既存のアプリ設定で内部 iOS アプリを更新している場合は、バージョン更新中に同じ名前でアプリ設定を作成します。BlackBerry UEM は、その後自動的に新しいバージョンをユーザーに導入できます。詳細については、「アプリ設定の追加または変更」を参照してください。

作業を始める前に： Android Enterprise デバイスの Google Play でホストされるアプリを更新している場合、更新したバージョンのアプリを Google Play に追加し、Google がアプリを公開するまで待機してから、BlackBerry UEM でアプリを更新します。

1. メニューバーで［アプリ］をクリックします。
2. 更新する内部アプリをクリックします。
3. 右上で、 をクリックします。
4. ［内部アプリを更新］ダイアログボックスで、［参照］をクリックし、更新するアプリに移動します。
5. ［保存］ボタンが表示されるまで、［追加］をクリックします。
6. ［保存］をクリックします。

デバイスへの Web ショートカットの追加

iOS、macOS、および Android デバイスへの Web ページへのショートカットは、アプリの追加と同様の方法で作成できます。たとえば、組織の内部 Web サイトへのショートカットを追加できます。ショートカットを追加する方法は、デバイスタイプによって異なります。

iOS および macOS デバイスおよび Android Enterprise を使用するようにアクティブ化されていない Android デバイスの場合は、アプリショートカットを追加します。ショートカット情報とアイコンファイルが UEM に追加されます。

Android Enterprise デバイスの場合は、Google Play に Web アプリケーションを追加します。Google Web アプリケーションシステムは .apk ファイルを作成し、ユーザーが仕事用プロファイルにインストールできるように Google Play でホストします。Google は、「com.google.enterprise.webapp」で始まる Web アプリのアプリパッケージ ID を生成します。Google Web アプリは、アプリリストのベンダーフィールドに と Android Enterprise 組織名を表示します。

iOS、macOS、および Android デバイス用アプリショートカットの作成

ユーザーのデバイスに表示する Web ページへのショートカットごとにアプリショートカットを作成する必要があります。BlackBerry Dynamics でアクティブ化されたデバイスの場合、BlackBerry Dynamics Launcher にショートカットを追加するオプションがあります。

作業を始める前に：

- 「機能 - BlackBerry App Store」（com.blackberry.feature.appstore）のアプリ権限がユーザーに割り当てられていることを確認します。
- ショートカットのアイコンとして使用する予定の画像が以下の要件を満たしていることを確認します。
  - 画像形式が .png、.jpg、または .jpeg である。
  - 画像に透明な要素がない。透明な要素はデバイス上で黒く表示されます。

- 最大画像サイズが 120x120 である。

1. メニューバーで［アプリ］をクリックします。
2. をクリックします。
3. ［アプリショートカット］をクリックします。
4. アプリショートカットの名前と説明を入力します。この名前は、アプリショートカットのラベルとして使用されます。
5. ［ショートカットアイコン］フィールドの横にある［参照］をクリックします。アプリショートカットアイコンの画像を見つけて選択します。サポートされている画像形式は、.png、-.jpg、または .jpeg です。
6. このアプリショートカットを設定するデバイスタイプを選択します。
7. 選択した各デバイスタイプタブの［URL］フィールドに、ショートカットの Web アドレスを入力します。Web アドレスでは、先頭に http:// または https:// を指定する必要があります。
8. ショートカットを追加する位置を選択します。BlackBerry Dynamics Launcher にショートカットを追加する場合は、Web サイトを BlackBerry Access ブラウザーで開くかどうかを指定します。
9. ［追加］をクリックします。

Android Enterprise デバイス用 Web アプリの作成

ユーザーの Android Enterprise デバイスに表示するショートカットごとに Web アプリを作成します。

作業を始める前に：

ショートカットのアイコンとして使用する予定の画像が 512px x 512px で、.png、.jpg、または .jpeg 形式であることを確認します。

1. メニューバーで［アプリ］をクリックします。
2. をクリックします。
3. ［**Google Play**］をクリックします。
4. 左側のナビゲーションメニューで、 をクリックします。
5. をクリックします。
6. ［タイトル］フィールドに、デバイスに表示されるテキストを入力します。
7. ［**URL**］フィールドに、ショートカットの Web アドレスを入力します。Web アドレスは、「https://」で始まる必要があります。
8. Web アプリにフルスクリーン、スタンドアロン、または最小限の UI を表示するかを選択します。
9. ［アップロードアイコン］をクリックし、Web アプリに使用するアイコンを参照します。
10. ［作成］をクリックします。

    Web アプリが Google Play で作成されます。Google Play は、.apk ファイルを作成して BlackBerry UEM に送信するのに数分かかります。UEM が apk ファイルを受信すると、Web アプリをアプリリストに自動的に追加します。

終了したら： Web アプリがアプリリストに表示されたら、Android Enterprise デバイスの他の内部アプリと同様に BlackBerry UEM アプリ設定を更新できます。

Android Enterprise デバイスの Web アプリを更新する

Google Play に追加した Web アプリを更新できます。Web アプリを更新すると、Google Play によって .apk ファイルの更新バージョンが作成され、BlackBerry UEM に送信されます。BlackBerry UEM は、更新された .apk ファイルを Android Enterprise デバイス用の他のアプリの新しいバージョンと同じ方法で扱います。

1. メニューバーで［アプリ］をクリックします。
2. をクリックします。
3. ［**Google Play**］をクリックします。
4. 左側のナビゲーションメニューで、 をクリックします。
5. 更新する Web アプリをクリックします。
6. ［編集］をクリックします。
7. 必要に応じて設定を更新します。
8. ［保存］をクリックします。

   Web アプリが Google Play で更新されます。Google Play は、新しい .apk ファイルを作成して BlackBerry UEM に送信するのに数分かかります。UEM が apk ファイルを受信すると、アプリリストが自動的に更新されます。アプリが予想通りにアプリリストに追加されない場合は、［選択］をクリックして、アプリをアプリリストに手動で追加します。

終了したら： 更新された Web アプリがアプリリストに表示されたら、Android Enterprise デバイスの他の内部アプリと同様に BlackBerry UEM アプリ設定を更新できます。

アプリ設定の追加または変更

アプリ設定では、ユーザーにアプリを割り当てる前に、特定のアプリ設定を事前に指定できます。アプリ設定を事前に指定することで、ユーザーがアプリをより簡単にダウンロード、セットアップ、および使用できるようにすることができます。たとえば、多くのアプリでは、ユーザーはアプリを使用する前に URL やメールアドレスなどの情報を入力する必要があります。アプリ設定を追加することで、これらの設定の一部を事前に指定できます。異なる目的で異なる設定のアプリに対して、複数のアプリ設定を作成し、設定をランク付けできます。アプリが異なるアプリ設定で複数回ユーザーに割り当てられた場合、最上位のランクのアプリが適用されます。

BlackBerry UEM では、次のアプリのアプリ設定を作成できます。

- 監視対象設定機能を使用して開発された iOS アプリ（一般または内部）。「アプリリストへの iOS アプリの追加」を参照してください。
- Android アプリ制限機能を使用して開発された Android アプリ（一般または内部）。Android Enterprise をサポートするように BlackBerry UEM を構成する必要があります。「アプリリストへの Android アプリの追加」を参照してください。

アプリ設定の詳細については、アプリのベンダーにお問い合わせください。

アプリ設定の詳細については、http://www.appconfig.org/ にアクセスしてください。

アプリの設定で Android デバイスを管理する

BlackBerry UEM は Android OEMConfig アプリをサポートしています。これにより、アプリ構成を使用してデバイスメーカー API を管理できます。Samsung および BlackBerry からのデバイスを含む多くの Android デバイスは、デバイスに独自の API を備えています。BlackBerry UEM は、プロファイルと IT ポリシールールを使用して、Knox Platform for Enterprise および BlackBerry API によって制御される設定を管理する機能を提供します。

ただし、他の Android デバイスメーカーも、管理者が管理できるように設定されたデバイス固有の API を使用している場合があります。この機能を提供するために、メーカーは、管理者がアプリの設定を使用してデバイス機能を管理できるようにする、デバイス用の OEMConfig アプリを提供できます。

Samsung は Knox Platform for Enterprise デバイスの設定を許可する Knox Service Plugin アプリを提供します。Knox Service Plugin を使用する場合は、次の考慮事項に注意してください。

- Samsung デバイスは、Knox Service Plugin または BlackBerry UEM IT ポリシーとプロファイルのどちらにも優先しません。デバイスは、受信した最新の設定を使用します。
- Samsung は UEM を使用して Samsung 固有のオプションを可能な限り管理し、Knox Service Plugin を使用して UEM で別の方法で設定できない設定のみ（たとえば、UEM のバージョンでは、まだ管理できない Samsung デバイス機能の最近の更新など）を管理することをお勧めします。
- Knox Service Plugin を使用する場合は、デバイスの動作の一貫性を保つために、アプリの設定が IT ポリシーで設定された動作と一致していることと、デバイスに送信されるプロファイルも一致していることを確認します。

ユーザーによる特定のアプリのインストール防止

ユーザーが特定のアプリをインストールできないようにするために、制限されたアプリのリストを作成し、コンプライアンスプロファイルを使用して制限を適用できます。たとえば、悪意のあるアプリや、大量のリソースを必要とするアプリをユーザーがインストールできないように設定できます。

特定のアプリの制限

iOS および Android デバイスの場合は、制限されたアプリリストからアプリを選択し、このようなアプリがインストールされたときにユーザーにプロンプトを表示するか仕事用データを削除するなどの強制アクションを設定するコンプライアンスプロファイルを作成できます。

次のデバイスでは、コンプライアンスプロファイルで指定されたアプリのユーザーによるインストールは自動的に防止されるため、強制アクションを指定する必要はありません。

- Samsung Knox デバイスでは、制限されたアプリをユーザーがインストールしようとすると、アプリが制限されておりインストールできないことを示すメッセージがデバイスに表示されます。制限されたアプリがインストール済みの場合は無効になります。Samsung Knox デバイスでは、アプリが個人用領域と仕事用領域にインストールされないようにするオプションをコンプライアンスプロファイルで選択できます。
- 監視対象の iOS デバイスの場合、制限されたアプリをユーザーがインストールしようとすると、アプリは非表示になります。制限されたアプリが既にインストールされている場合は、通知なしでユーザーに表示されなくなります。組み込みアプリを制限するには、コンプライアンスプロファイルを作成し、プロファイル内の制限されたアプリリストにアプリを追加する必要があります。詳細については、「iOS：コンプライアンスプロファイル設定」を参照してください。
- Android Enterprise デバイスでは、ユーザーは、割り当てられた仕事用領域にしかアプリをインストールできないので、コンプライアンスプロファイルを作成して、システムアプリ以外のアプリを制限する必要はありません。制限されたアプリがデバイスにインストール済みの場合は無効になりません。システムアプリ（電卓、時計、カメラなど）を制限する場合は、システムアプリをコンプライアンスプロファイルに追加して制限を適用する必要があります。
- BlackBerry 10 デバイスでは、ユーザーは、割り当てられた仕事用領域にしかアプリをインストールできないので、コンプライアンスプロファイルを作成して、アプリを制限する必要はありません。制限されたアプリがデバイスにインストール済みの場合は無効になりません。

特定のアプリの許可

監視対象の iOS デバイスでは、許可されているアプリのリストを指定するコンプライアンスプロファイルを作成できます。他のアプリは、電話と環境設定のアプリを除いたすべてが自動的に禁止され、デバイスに表示できません。既にインストールされているアプリで許可リストにないものは、通知なしでユーザーに表示されなくなります。次のアプリは、BlackBerry UEM でデバイスを管理できるようにするため、デフォルトで許可リストに含まれています。

- BlackBerry UEM Client
- Web クリップアイコン
- BlackBerry Secure Connect Plus

メモ： 同じ iOS アプリがコンプライアンスプロファイルの制限リストと許可リストの両方に割り当てられている場合、アプリは制限されます。

コンプライアンスプロファイルの作成の詳細については、「コンプライアンスプロファイルを作成する」を参照してください。

ユーザーによる特定のアプリのインストールを防止する手順

ユーザーによるアプリのインストールを防止する場合は、次の操作を実行します。

手順	アクション
1	制限されたアプリリストへのアプリの追加. メモ：制限する特定のアプリを選択するか、許可する特定のアプリを選択するかに関わらず、制限されたアプリリストにアプリを追加する必要があります。 メモ：この手順は、監視対象の iOS デバイスの組み込みアプリには適用されません。組み込みアプリを制限するには、コンプライアンスプロファイルを作成し、プロファイル内の制限されたアプリリストにアプリを追加する必要があります。詳細については、「iOS：コンプライアンスプロファイル設定」を参照してください。
2	コンプライアンスプロファイルを作成します。
3	コンプライアンスプロファイルをユーザーアカウント、ユーザーグループ、またはデバイスグループに割り当てます。

制限されたアプリリストへのアプリの追加

制限されたアプリリストは、次のいずれかのコンプライアンスルールを適用するときに選択できるアプリのライブラリです。

- インストール済みの制限されたアプリ（iOS および Android デバイスの場合）
- デバイス上の許可されたアプリのみを表示（監視対象の iOS デバイスの場合）

1. メニューバーで［アプリ］をクリックします。
2. ［制限されたアプリ］をクリックします。
3. ＋ をクリックします。
4. 次のタスクのいずれかを実行します。

タスク	手順
制限リストに iOS アプリを追加する	a. ［**App Store**］をクリックします。 b. 検索フィールドで、追加するアプリを検索します。アプリ名、ベンダー、または App Store URL によって検索できます。 c. ［検索］をクリックします。 d. 検索結果で、［追加］をクリックしてアプリを追加します。

タスク	手順
制限リストに Android アプリを追加する	**a.** ［**Google Play**］をクリックします。 **b.** ［アプリ名］フィールドにアプリ名を入力します。 **c.** ［**Google Play** からのアプリの **Web** アドレス］フィールドで、Google Play 内のアプリの Web アドレスを入力します。 **d.** ［追加］をクリックしてアプリを追加するか、［追加して新規作成］をクリックして現在のアプリを追加した後に、別のアプリを追加します。

アプリリストでのアプリの管理

アプリリストには、ユーザー、ユーザーグループ、およびデバイスグループに割り当てることができるアプリが含まれます。アプリリストには、次の情報が含まれています。

- アプリ名とアイコン
- アプリのベンダー
- サポートされるデバイス OS
- 適用されるユーザーの数
- アプリがインストールされているデバイスの数
- アプリのレーティング
- アプリソース

適用されるユーザーの数をクリックして、アプリのインストールステータスに関する情報を表示できます。

アプリがインストールされているデバイスの数をクリックして、確認済みおよび未確認のインストールの数を表示できます。未確認のインストールには、ユーザーのプライバシー アクティベーションタイプの iOS デバイスでのインストールが含まれます。これは、アプリがデバイスにインストールされたままなのかどうかを、UEM が確認できないことが理由です。

ロックアイコン で表示されているアプリは、BlackBerry Dynamics アプリです。詳細については、「BlackBerry Dynamics アプリの管理」を参照してください。

メモ： Microsoft Intune アプリ保護プロファイルによってユーザーに割り当てられたアプリは、アプリリストには表示されません。

アプリリストからのアプリの削除

アプリリストからアプリを削除すると、そのアプリは割り当てられていたユーザーまたはグループから割り当て解除され、それ以降、デバイスの仕事用アプリケーションカタログには表示されません。

1. メニューバーで［アプリ］をクリックします。
2. アプリリストから削除するアプリの横にあるチェックボックスをオンにします。
3. をクリックします。
4. ［削除］をクリックします。

アプリを必須にするかオプションにするかの変更

アプリを必須にするかオプションにするかを変更できます。アプリを必須またはオプションに設定したときに実行される操作は、アプリ、デバイス、アクティベーションなどのタイプによって異なります。

1. メニューバーで［ユーザーとデバイス］をクリックします。
2. 変更するアプリがユーザーアカウントに割り当てられている場合は、検索結果で、ユーザーアカウントの名前をクリックします。
3. 変更するアプリがグループに割り当てられている場合は、［グループ］をクリックしてユーザーグループのリストを展開し、グループの名前をクリックします。

4. ［グループ割り当てアプリとユーザー割り当てアプリ］セクションで、変更するアプリの種別をクリックします。
5. アプリの［種別］ドロップダウンリストで、［オプション］または［必須］を選択します。
6. ［割り当て］をクリックします。

新規アプリおよび更新アプリに関するデバイス通知

管理者が新しいアプリを割り当てるか、内部アプリに対する更新が利用可能になると、ほとんどの場合、ユーザーはデバイスで通知を受信します。デバイス通知の他にも、BlackBerry UEM Client または「仕事用アプリ」アプリでは、新規アプリや更新済みアプリが、アプリカタログの［新規］リストに表示されます。

アプリ（必須およびオプション）は、次の状況で［新規］リストに表示されます。

- アプリがユーザーに割り当てられ、そのアプリがまだデバイスにインストールされていない状況
- アプリがユーザーに割り当てられ、自動的にインストールされる状況
- インストール済みのアプリに対して更新が利用可能になっている状況
- ユーザーが BlackBerry Access をデバイスにインストール済みの状況
- 機能 - BlackBerry App Store の使用資格がユーザーに割り当てられている状況

［新規］リストにアプリが残っている場合、BlackBerry UEM は通知をデバイスに定期的に再送信します。

アプリの［新規］リストで、ユーザーが新規アプリをクリックしてアプリの詳細を表示した場合、ユーザーがアプリをインストールしたかどうかに関係なく、そのアプリは［新規］リストから削除されます。更新が利用可能なアプリをユーザーがクリックした場合は、更新がインストールされるまで、アプリはリストに残されます。

アプリの通知の詳細については、次を参照してください。

- MDM 制御 アクティベーションを使用した iOS デバイスでのアプリの動作
- ユーザーのプライバシー アクティベーションを使用した iOS デバイスでのアプリの動作
- Android Enterprise デバイスでのアプリの動作
- 仕事用プロファイルがない Android デバイスでのアプリの動作
- Samsung Knox デバイスでのアプリの動作

MDM 制御 アクティベーションを使用した iOS デバイスでのアプリの動作

BlackBerry Dynamics が有効になっているデバイスの場合、「機能 - BlackBerry App Store」資格をユーザーに割り当てている場合は、仕事用アプリのカタログが BlackBerry Dynamics Launcher に表示されます。詳細については、「BlackBerry Dynamics Launcher への仕事用アプリカタログの追加」を参照してください。

MDM 制御 でアクティブ化された iOS デバイスの場合、次の動作が行われます。

アプリタイプ	アプリがユーザーに割り当てられるとき	アプリが更新されるとき	アプリがユーザーから割り当て解除されるとき	デバイスが **BlackBerry UEM** から削除されるとき
種別が必須になっている一般のアプリ	アプリが既にインストールされている場合、UEM によるアプリの管理を許可するように求めるプロンプトがユーザーに表示されます。 監視対象のデバイスで、アプリは自動的にインストールされます。 非監視対象デバイスでは、アプリをインストールするように求めるプロンプトがユーザーに表示されます。 アプリは、ユーザーが詳細を表示したとき（アプリがインストールされていない場合でも）、またはユーザーがアプリをインストールしたときに、「新規/更新」リストから削除されます。 コンプライアンスプロファイルを使用して、必須アプリがインストールされていない場合に実行する操作を定義できます。	iTunes は、利用可能な更新についてユーザーに通知します。 アプリは、ユーザーがアプリを更新したときに、「新規/更新」リストから削除されます。（最大 1 時間かかります） iTunes にアクセスできないデバイスの場合、ユーザーには通知されませんが、デバイスに Apple VPP ライセンスが割り当てられている場合、アプリカタログから更新をダウンロードできます。	アプリは通知なしに自動的に削除されます。 アプリはアプリカタログに表示されなくなります。	アプリは自動的に削除されます。

アプリタイプ	アプリがユーザーに割り当てられるとき	アプリが更新されるとき	アプリがユーザーから割り当て解除されるとき	デバイスが **BlackBerry UEM** から削除されるとき
種別がオプションになっている一般のアプリ	アプリが既にインストールされている場合、UEM によるアプリの管理を許可するように求めるプロンプトがユーザーに表示されます。 ユーザーは、アプリカタログへの変更について通知されます。 アプリは、ユーザーが詳細を表示したときにのみ（アプリがインストールされているかどうかに関わらず）、「新規/更新」リストから削除されます。 ユーザーはアプリをインストールするかどうかを選択できます。	iTunes は、利用可能な更新についてユーザーに通知します。 アプリは、ユーザーが詳細を表示したときに（アプリが更新されているかどうかに関わらず）、「新規/更新」リストから削除されます。	アプリは通知なしに自動的に削除されます。 アプリはアプリカタログに表示されなくなります。	アプリは自動的に削除されます。

アプリタイプ	アプリがユーザーに割り当てられるとき	アプリが更新されるとき	アプリがユーザーから割り当て解除されるとき	デバイスが **BlackBerry UEM** から削除されるとき
種別が必須になっている内部アプリ	アプリが既にインストールされている場合、UEM によるアプリの管理を許可するように求めるプロンプトがユーザーに表示されます。 監視対象のデバイスで、アプリは自動的にインストールされます。 非監視対象デバイスでは、アプリをインストールするように求めるプロンプトがユーザーに表示されます。ユーザーがインストールをキャンセルした場合、アプリカタログからアプリをインストールできます。 アプリは、ユーザーが詳細を表示したとき（アプリがインストールされていない場合でも）、またはユーザーがアプリをインストールしたときに、「新規/更新」リストから削除されます。 コンプライアンスプロファイルを使用して、必須アプリがインストールされていない場合に実行する操作を定義できます。	アプリは、ユーザーがアプリを更新したときに、「新規/更新」リストから削除されます。	アプリは通知なしに自動的に削除されます。 アプリはアプリカタログに表示されなくなります。	アプリは自動的に削除されます。

アプリタイプ	アプリがユーザーに割り当てられるとき	アプリが更新されるとき	アプリがユーザーから割り当て解除されるとき	デバイスが **BlackBerry UEM** から削除されるとき
種別がオプションになっている内部アプリ	アプリが既にインストールされている場合、UEM によるアプリの管理を許可するように求めるプロンプトがユーザーに表示されます。 アプリは、ユーザーが詳細を表示したとき（アプリがインストールされていない場合でも）、またはユーザーがアプリをインストールしたときに、「新規/更新」リストから削除されます。	アプリは、ユーザーがアプリを更新したときに、「新規/更新」リストから削除されます。	アプリは通知なしに MDM 制御 でアクティブ化されたデバイスから自動的に削除されます。 アプリは ユーザーのプライバシー でアクティブ化されたデバイスから削除されません。 アプリはアプリカタログに表示されなくなります。	アプリは自動的に削除されます。

ユーザーのプライバシー アクティベーションを使用した iOS デバイスでのアプリの動作

BlackBerry Dynamics が有効になっているデバイスの場合、「機能 - BlackBerry App Store」資格をユーザーに割り当てている場合は、仕事用アプリのカタログが BlackBerry Dynamics Launcher に表示されます。詳細については、「BlackBerry Dynamics Launcher への仕事用アプリカタログの追加」を参照してください。

ユーザーのプライバシー で iOS デバイスをアクティブ化する場合、アプリ管理を許可するかどうかを選択できます。アプリ管理を許可する場合、ユーザーのプライバシー アクティベーションのアプリの動作は MDM コントロールのアクティベーションと同じです。ユーザーのプライバシー でアクティブ化された iOS デバイスのアプリ管理を許可しない場合、次の動作が行われます。

アプリタイプ	アプリがユーザーに割り当てられるとき	アプリが更新されるとき	アプリがユーザーから割り当て解除されるとき	デバイスが **BlackBerry UEM** から削除されるとき
種別が必須になっている一般のアプリ	ユーザーはアプリのインストールを要求されません。ユーザーは、必要なアプリをインストールするためにアプリカタログに移動する必要があります。 アプリは、ユーザーが詳細を表示したとき（アプリがインストールされていない場合でも）、またはユーザーがアプリをインストールしたときに、「新規/更新」リストから削除されます。	iTunes は、利用可能な更新についてユーザーに通知します。 アプリは、ユーザーがアプリを更新したときに、「新規/更新」リストから削除されます。（最大 1 時間かかります） iTunes にアクセスできないデバイスの場合、ユーザーには通知されませんが、アプリカタログから更新をダウンロードすることができます。	アプリはデバイスに残ります。 アプリはアプリカタログに表示されなくなります。	アプリはデバイスに残ります。
種別がオプションになっている一般のアプリ	アプリが既にインストールされている場合は何も起こりません。 ユーザーは、アプリカタログへの変更について通知されます。 アプリは、ユーザーが詳細を表示したときにのみ（アプリがインストールされているかどうかに関わらず）、「新規/更新」リストから削除されます。 ユーザーはアプリをインストールするかどうかを選択できます。	iTunes は、利用可能な更新についてユーザーに通知します。 アプリは、ユーザーが詳細を表示したときに（アプリが更新されているかどうかに関わらず）、「新規/更新」リストから削除されます。	アプリはデバイスに残ります。 アプリはアプリカタログに表示されなくなります。	アプリはデバイスに残ります。

アプリタイプ	アプリがユーザーに割り当てられるとき	アプリが更新されるとき	アプリがユーザーから割り当て解除されるとき	デバイスが **BlackBerry UEM** から削除されるとき
種別が必須になっている内部アプリ	アプリが既にインストールされている場合、UEM によるアプリの管理を許可するように求めるプロンプトがユーザーに表示されます。 アプリは、ユーザーが詳細を表示したとき（アプリがインストールされていない場合でも）、またはユーザーがアプリをインストールしたときに、「新規/更新」リストから削除されます。	アプリは、ユーザーがアプリを更新したときに、「新規/更新」リストから削除されます。	アプリはデバイスに残ります。 アプリはアプリカタログに表示されなくなります。	アプリはデバイスに残ります。
種別がオプションになっている内部アプリ	アプリが既にインストールされている場合は何も起こりません。 アプリは、ユーザーが詳細を表示したとき（アプリがインストールされていない場合でも）、またはユーザーがアプリをインストールしたときに、「新規/更新」リストから削除されます。	アプリは、ユーザーがアプリを更新したときに、「新規/更新」リストから削除されます。	アプリはデバイスに残ります。 アプリはアプリカタログに表示されなくなります。	アプリはデバイスに残ります。

Android Enterprise デバイスでのアプリの動作

BlackBerry Dynamics が有効になっているデバイスの場合、「機能 - BlackBerry App Store」資格をユーザーに割り当てている場合は、仕事用アプリのカタログが BlackBerry Dynamics Launcher に表示されます。詳細については、「BlackBerry Dynamics Launcher への仕事用アプリカタログの追加」を参照してください。

「仕事用と個人用 - ユーザーのプライバシー 」、「仕事用と個人用 - フルコントロール 」、または「仕事用領域のみ 」でアクティベーションを行ったデバイスの場合、以下のような動作になります。

アプリタイプ	アプリがユーザーに割り当てられるとき	アプリが更新されるとき	アプリがユーザーから割り当て解除されるとき	デバイスが **BlackBerry UEM** から削除されるとき
種別が必須になっている一般のアプリ	アプリは自動的にインストールされます。	アプリは自動的に更新されます。	アプリは自動的にデバイスから削除されます。	仕事用プロファイルと割り当てられた仕事用アプリケーションはデバイスから削除されます。
種別がオプションになっている一般のアプリ	ユーザーはアプリをインストールするかどうかを選択できます。 アプリは Google Play for Work に表示されます。	Google Play for Work は、ユーザーに更新を通知します。	アプリは自動的にデバイスから削除されます。	仕事用プロファイルと割り当てられた仕事用アプリケーションはデバイスから削除されます。
BlackBerry UEM でホストされている必須の種別になっている内部アプリ	仕事用領域のみ デバイスでのみサポートされます。 アプリは自動的にインストールされます。	仕事用領域のみ デバイスでのみサポートされます。 アプリは自動的にインストールされます。	アプリは自動的にデバイスから削除されます。	アプリは自動的にデバイスから削除されます。
BlackBerry UEM でホストされているオプションの種別になっている内部アプリ	ユーザーはアプリをインストールするかどうかを選択できます。 アプリは Google Play for Work に表示されます。	Google Play for Work は、ユーザーに更新を通知します。	アプリは自動的にデバイスから削除されます。	仕事用プロファイルと割り当てられた仕事用アプリケーションはデバイスから削除されます。
Google Play でホストされている必須の種別になっている内部アプリ	アプリは自動的にデバイスにインストールされます。	Google Play for Work は、ユーザーに更新を通知します。	アプリは自動的にデバイスから削除されます。	仕事用プロファイルと割り当てられた仕事用アプリケーションはデバイスから削除されます。
Google Play でホストされているオプションの種別になっている内部アプリ	ユーザーはアプリをインストールするかどうかを選択できます。 アプリは Google Play for Work に表示されます。	Google Play for Work は、ユーザーに更新を通知します。	アプリは自動的にデバイスから削除されます。	仕事用プロファイルと割り当てられた仕事用アプリケーションはデバイスから削除されます。

仕事用プロファイルがない Android デバイスでのアプリの動作

BlackBerry Dynamics が有効になっているデバイスの場合、「機能 - BlackBerry App Store」資格をユーザーに割り当てている場合は、仕事用アプリのカタログが BlackBerry Dynamics Launcher に表示されます。詳細については、「BlackBerry Dynamics Launcher への仕事用アプリカタログの追加」を参照してください。

メモ： MDM 制御 アクティベーションタイプは、Android 10 を使用するデバイスでは推奨されません。詳細については、https://support.blackberry.com/community にアクセスし、記事 48386 を参照してください。

Android および MDM 制御 でアクティブ化した ユーザーのプライバシー デバイスの場合、次の動作が行われます。

アプリタイプ	アプリがユーザーに割り当てられるとき	アプリが更新されるとき	アプリがユーザーから割り当て解除されるとき	デバイスが **BlackBerry UEM** から削除されるとき
種別が必須になっている一般のアプリ	ユーザーは、アプリカタログへの変更について通知されます。 アプリは、ユーザーが詳細を表示したとき（アプリがインストールされていない場合でも）、またはユーザーがアプリをインストールしたときに、「新規/更新」リストから削除されます。 コンプライアンスプロファイルを使用して、必須アプリがインストールされていない場合に実行する操作を定義できます。	ユーザーには Google Play から通知されます。	ユーザーはアプリを削除するように要求されます。 アプリはアプリカタログに表示されなくなります。	ユーザーはアプリを削除するように要求されます。
種別がオプションになっている一般のアプリ	ユーザーはアプリをインストールするかどうかを選択できます。	ユーザーには Google Play から通知されます。	ユーザーはアプリを削除するように要求されます。 アプリはアプリカタログに表示されなくなります。	ユーザーはアプリを削除するように要求されます。

アプリタイプ	アプリがユーザーに割り当てられるとき	アプリが更新されるとき	アプリがユーザーから割り当て解除されるとき	デバイスが **BlackBerry UEM** から削除されるとき
種別が必須になっている内部アプリ	ユーザーは、アプリカタログへの変更について通知されます。 アプリは自動的にインストールされます。 ユーザーが詳細を表示すると、またはアプリがインストールされると、アプリは［新規/更新］リストから削除されます。 コンプライアンスプロファイルを使用して、必須アプリがインストールされていない場合に実行する操作を定義できます。	ユーザーは、アプリカタログへの変更について通知されます。 更新は自動的にインストールされます。 ユーザーが詳細を表示すると、またはアプリが更新されると、アプリは［新規/更新］リストから削除されます。	ユーザーはアプリを削除するように要求されます。 アプリはアプリカタログに表示されなくなります。	ユーザーはアプリを削除するように要求されます。
種別がオプションになっている内部アプリ	ユーザーはアプリをインストールするかどうかを選択できます。 アプリは「新規/更新」リストに表示されます。	アプリは「新規/更新」リストに表示されます。	ユーザーはアプリを削除するように要求されます。 アプリはアプリカタログに表示されなくなります。	ユーザーはアプリを削除するように要求されます。

Samsung Knox デバイスでのアプリの動作

BlackBerry Dynamics が有効になっているデバイスの場合、「機能 - BlackBerry App Store」資格をユーザーに割り当てている場合は、仕事用アプリのカタログが BlackBerry Dynamics Launcher に表示されます。詳細については、「BlackBerry Dynamics Launcher への仕事用アプリカタログの追加」を参照してください。

メモ： Samsung Knox アクティベーションタイプは、将来のリリースで廃止されます。Knox Platform for Enterprise をサポートするデバイスは、Android Enterprise アクティベーションタイプを使用してアクティブ化できます。詳細については、https://support.blackberry.com/community にアクセスし、記事 54614 を参照してください。

Android Enterprise アクティベーションタイプでアクティブ化された Samsung Knox デバイスでのアプリの動作については、「Android Enterprise デバイスでのアプリの動作」を参照してください。

「MDM 制御 」でアクティブ化した Samsung Knox デバイスの場合、次の動作が行われます。

アプリタイプ	アプリがユーザーに割り当てられるとき	アプリが更新されるとき	アプリがユーザーから割り当て解除されるとき	デバイスが **BlackBerry UEM** から削除されるとき
種別が必須になっている一般のアプリ	ユーザーはアプリをインストールするように要求されます。 割り当てられたアプリは BlackBerry UEM Client に表示されます。ユーザーがインストールボタンをクリックすると、Google Play が開いて、ここからアプリがインストールされます。 コンプライアンスプロファイルを使用して、必須アプリがインストールされていない場合に実行する操作を定義できます。	Google Play は、ユーザーに更新を通知します。 ［新規/更新］リストにアプリが表示されます。	ユーザーはアプリをアンインストールするように要求されます。	ユーザーは割り当てられた仕事用アプリケーションをアンインストールするように要求されます。
種別がオプションになっている一般のアプリ	ユーザーはアプリをインストールするかどうかを選択できます。 割り当てられたアプリは BlackBerry UEM Client に表示されます。ユーザーがインストールボタンをクリックすると、Google Play が開いて、ここからアプリがインストールされます。	Google Play は、ユーザーに更新を通知します。 ［新規/更新］リストにアプリが表示されます。	ユーザーはアプリをアンインストールするように要求されます。	ユーザーは割り当てられた仕事用アプリケーションをアンインストールするように要求されます。

アプリタイプ	アプリがユーザーに割り当てられるとき	アプリが更新されるとき	アプリがユーザーから割り当て解除されるとき	デバイスが **BlackBerry UEM** から削除されるとき
種別が必須になっている内部アプリ	アプリは自動的にデバイスにインストールされます。ユーザーはアプリをアンインストールできません。	アプリは自動的に更新されます。	アプリは自動的にデバイスから削除されます。	アプリは自動的にデバイスから削除されます。
種別がオプションになっている内部アプリ	ユーザーはアプリをインストールするかどうかを選択できます。 ユーザーは BlackBerry UEM Client からアプリをインストールします。	ユーザーはアプリを更新するかどうかを選択できます。 ユーザーは BlackBerry UEM Client からアプリを更新します。	アプリは自動的にデバイスから削除されます。	アプリは自動的にデバイスから削除されます。

仕事用領域専用（Samsung Knox）でアクティベーションを行ったデバイスの場合、以下のような動作になります。

アプリタイプ	アプリがユーザーに割り当てられるとき	アプリが更新されるとき	アプリがユーザーから割り当て解除されるとき	デバイスが **BlackBerry UEM** から削除されるとき
種別が必須になっている一般のアプリ	すべての一般のアプリは、仕事用領域ではデフォルトで制限されます。 割り当てられたアプリは［新規/更新］リストに表示されますが、Google Play からインストールする必要があります。 ユーザーが詳細を表示すると、またはアプリが更新されると、アプリは［新規/更新］リストから削除されます。 Google Play は、ユーザーに割り当てられた IT ポリシーで有効にする必要があります。 コンプライアンスプロファイルを使用して、必須アプリがインストールされていない場合に実行する操作を定義できます。	Google Play は、ユーザーに更新を通知します。 ［新規/更新］リストにアプリが表示されます。 ユーザーが詳細を表示すると、またはアプリが更新されると、アプリは［新規/更新］リストから削除されます。	アプリはデバイスから削除され、Google Play からインストールできなくなります。	仕事用領域とすべての仕事用アプリケーションは自動的に削除されます。 アプリは Google Play 内で自動的に制限されなくなります。

アプリタイプ	アプリがユーザーに割り当てられるとき	アプリが更新されるとき	アプリがユーザーから割り当て解除されるとき	デバイスが **BlackBerry UEM** から削除されるとき
種別がオプションになっている一般のアプリ	すべての一般のアプリは、仕事用領域ではデフォルトで制限されます。 割り当てられたアプリは［新規/更新］リストに表示されますが、Google Play からインストールする必要があります。 ユーザーが詳細を表示すると、またはアプリが更新されると、アプリは［新規/更新］リストから削除されます。 Google Play は、ユーザーに割り当てられた IT ポリシーで有効にする必要があります。	Google Play は、ユーザーに更新を通知します。 ［新規/更新］リストにアプリが表示されます。 ユーザーが詳細を表示すると、またはアプリが更新されると、アプリは［新規/更新］リストから削除されます。	アプリはデバイスから削除され、Google Play からインストールできなくなります。	アプリは自動的に削除されます。 アプリは Google Play 内で自動的に制限されなくなります。
種別が必須になっている内部アプリ	アプリは自動的にデバイスにインストールされます。ユーザーはアプリをアンインストールできません。	アプリは自動的にデバイスで更新されます。	アプリは自動的にデバイスから削除されます。	アプリは自動的にデバイスから削除されます。
種別がオプションになっている内部アプリ	ユーザーはアプリをインストールするかどうかを選択できます。 ユーザーは BlackBerry UEM Client からアプリをインストールします。	ユーザーはアプリをインストールするかどうかを選択できます。 ユーザーは BlackBerry UEM Client からアプリをインストールします。	アプリは自動的にデバイスから削除されます。	アプリは自動的にデバイスから削除されます。

［仕事用と個人用 - フルコントロール （Samsung Knox）］、および［ユーザーのプライバシー （Samsung Knox）］でアクティベーションを行ったデバイスの場合、以下のような動作になります。

アプリタイプ	アプリがユーザーに割り当てられるとき	アプリが更新されるとき	アプリがユーザーから割り当て解除されるとき	デバイスが **BlackBerry UEM** から削除されるとき
種別が必須になっている一般のアプリ	すべての一般のアプリは、仕事用領域ではデフォルトで制限されます。 ユーザーはアプリをインストールするように要求されます。 割り当てられたアプリは BlackBerry UEM Client に表示されます。ユーザーがインストールボタンをクリックすると、Google Play が開いて、ここからアプリがインストールされます。 コンプライアンスプロファイルを使用して、必須アプリがインストールされていない場合に実行する操作を定義できます。	Google Play は通知を送信します。	アプリは個人用領域に残されますが、仕事用領域から削除されます。	仕事用領域は削除され、アプリは個人用領域に残されます。
種別がオプションになっている一般のアプリ	すべてのアプリは、仕事用領域でデフォルトで制限されます。 割り当てられたアプリは BlackBerry UEM Client に表示されますが、Google Play からインストールする必要があります。 Google Play は、ユーザーに割り当てられた IT ポリシーで有効にする必要があります。	Google Play は通知を送信します。	アプリは個人用領域に残されますが、仕事用領域から削除されます。	仕事用領域は削除され、アプリは個人用領域に残されます。

アプリタイプ	アプリがユーザーに割り当てられるとき	アプリが更新されるとき	アプリがユーザーから割り当て解除されるとき	デバイスが **BlackBerry UEM** から削除されるとき
種別が必須になっている内部アプリ	アプリは、仕事用領域に自動的にインストールされます。ユーザーはアプリをアンインストールできません。	更新が自動的にインストールされます。	アプリは自動的にデバイスから削除されます。	仕事用領域は削除され、アプリは個人用領域に残されます。
種別がオプションになっている内部アプリ	ユーザーはアプリをインストールするかどうかを選択できます。 ユーザーは BlackBerry UEM Client からアプリをインストールし、アプリは仕事用領域にインストールされます。	ユーザーはアプリを更新するかどうかを選択できます。 ユーザーは BlackBerry UEM Client からアプリを更新します。	アプリは自動的にデバイスから削除されます。	仕事用領域は削除され、アプリは個人用領域に残されます。

Windows 10 デバイスでのアプリの動作

アプリタイプ	アプリがユーザーに割り当てられるときの動作	アプリがユーザーから割り当て解除されるときの動作	デバイスが **BlackBerry UEM** から削除されるときの動作
種別が必須になっているオフライン Windows Store アプリ	アプリは自動的にデバイスにインストールされます。ユーザーはアプリをアンインストールできません。	アプリは自動的にデバイスから削除されます。	アプリは自動的にデバイスから削除されます。
種別が必須になっているオンライン Windows Store アプリ	アプリは自動的にデバイスにインストールされます。ユーザーはアプリをアンインストールできません。	アプリは自動的にデバイスから削除されます。	アプリは自動的にデバイスから削除されます。

アプリタイプ	アプリがユーザーに割り当てられるときの動作	アプリがユーザーから割り当て解除されるときの動作	デバイスが **BlackBerry UEM** から削除されるときの動作
種別がオプションになっているオフライン Windows Store アプリ	ユーザーはアプリをインストールするかどうかを選択できます。 オフラインアプリの場合、ユーザーは BlackBerry UEM App Catalog からアプリをインストールします。 Windows 10 Mobile デバイスではサポートされていません。	アプリをアンインストールするように求めるプロンプトは、ユーザーに表示されません。	割り当てられたアプリをアンインストールするように求めるプロンプトは、ユーザーに表示されません。
種別がオプションになっているオンライン Windows Store アプリ	ユーザーはアプリをインストールするかどうかを選択できます。 オンラインアプリの場合、ユーザーはデバイス上の Windows Store アプリからアプリをインストールします。 Windows 10 Mobile デバイスではサポートされていません。	アプリをアンインストールするように求めるプロンプトは、ユーザーに表示されません。	アプリをアンインストールするように求めるプロンプトは、ユーザーに表示されません。
種別が必須になっている内部アプリ	サポートされていません	サポートされていません	サポートされていません
種別がオプションになっている内部アプリ	サポートされていません	サポートされていません	サポートされていません

BlackBerry デバイスでのアプリの動作

［仕事用と個人用 - 会社 （仕事用領域のみ）］または［仕事用と個人用 - 制限付き ］でアクティベーションを行った BlackBerry デバイスの場合、以下のような動作になります。

アプリタイプ	アプリがユーザーに割り当てられるときの動作	アプリがユーザーから割り当て解除されるときの動作	デバイスが **BlackBerry UEM** から削除されるときの動作
種別が必須になっている一般のアプリ	サポート対象外です。	サポート対象外です。	サポート対象外です。

アプリタイプ	アプリがユーザーに割り当てられるときの動作	アプリがユーザーから割り当て解除されるときの動作	デバイスが **BlackBerry UEM** から削除されるときの動作
種別がオプションになっている一般のアプリ	ユーザーはアプリをインストールするかどうかを選択できます。 アプリは、仕事用 BlackBerry World の［一般のアプリ］タブに表示されます。	ユーザーはアプリをアンインストールするように要求されます。	仕事用領域とすべての仕事用アプリケーションは自動的に削除されます。
種別が必須になっている内部アプリ	アプリは自動的にデバイスにインストールされます。 ユーザーはアプリをアンインストールできません。	アプリは自動的にデバイスから削除されます。	仕事用領域とすべての仕事用アプリケーションは自動的に削除されます。
種別がオプションになっている内部アプリ	アプリは自動的にデバイスにインストールされます。 ユーザーはアプリをアンインストールできません。	アプリは自動的にデバイスから削除されます。	仕事用領域とすべての仕事用アプリケーションは自動的に削除されます。

アプリフィードバックの表示

BlackBerry UEM は、Android アプリからエラーおよび情報フィードバックを受信して表示できます。UEM でアプリケーション構成設定を表示し、管理者にフィードバックを提供するように設計されたアプリケーションのみが UEM にフィードバックを送信できます。提供されるフィードバックは、アプリによって異なります。

特定のデバイスに割り当てられているアプリのリストまたはアプリが割り当てられているユーザーのリストで、ユーザーのデバイス上のアプリが UEM にフィードバックを送信したかどうかを確認できます。リストの［フィードバック］列には、前回のフィードバックの日時が表示され、フィードバックがアプリのエラーの結果である場合は、⚠ が表示されます。

デバイスのすべてのアプリのフィードバックの表示

デバイスのどのアプリが BlackBerry UEM にフィードバックを送信したかを確認し、各アプリのフィードバックを確認できます。

1. メニューバーで、［ユーザー］ > ［管理されているデバイス］をクリックします。
2. ユーザーアカウントを検索します。
3. 検索結果で、ユーザーアカウントの名前をクリックします。
4. デバイスのタブをクリックします。

5. ［アプリ］ リストを展開します。

   リストの［フィードバック］列には、にフィードバックを UEM に送信したすべてのアプリについて、最後のフィードバックの日時が表示されます。

6. ［フィードバック］列のエントリをクリックすると、そのデバイスから UEM にアプリが送信したすべてのフィードバックが表示されます。

アプリのすべてのインストールからのフィードバックを表示する

アプリのどのデバイスインスタンスが BlackBerry UEM にフィードバックを送信したかを確認し、各デバイスからのアプリフィードバックを確認できます。

1. メニューバーで［アプリ］をクリックします。
2. フィードバックを表示するアプリをクリックします。
3. ［ユーザーに割り当て済み］タブをクリックします。

   タブには、アプリが割り当てられているユーザーとデバイスのリストが表示されます。リストの［フィードバック］列には、にフィードバックを UEM に送信したアプリケーションのすべてのインスタンスについて、最後のフィードバックの日時が表示されます。

4. ［フィードバック］列のエントリをクリックすると、そのデバイスから UEM にアプリが送信したすべてのフィードバックが表示されます。

アプリグループの管理

アプリグループを使用して、ユーザー、ユーザーグループ、またはデバイスグループに割り当てることができるアプリの集合体を作成できます。アプリをグループ化すると、アプリを管理する際の効率と一貫性を高めることができます。たとえば、アプリグループを使用して、複数のデバイスタイプ向けに同じアプリをグループ化したり、組織内の同じロールのユーザー向けにアプリをグループ化したりできます。

BlackBerry UEM では、「仕事用プロファイルを含む Android デバイスのおすすめのアプリ」や「BlackBerry Productivity Suite」という名前でアプリグループが既に設定されています。

アプリグループの作成

作業を始める前に： アプリをアプリリストに追加します。

1. メニューバーで［アプリ］ > ［アプリグループ］をクリックします。
2. をクリックします。
3. アプリグループの名前と説明を入力します。
4. ＋ をクリックします。
5. 追加するアプリを検索して選択します。
6. iOS および Android アプリの場合、使用可能なアプリ設定がある場合は、アプリに割り当てるアプリ設定を選択します。
7. iOS アプリを追加する場合は、次のタスクのいずれかを実行します。

タスク	手順
VPP アカウントを追加していない場合	a. ［追加］をクリックします。

タスク	手順
1 つ以上の VPP アカウントを追加している場合	**a.** ［追加］をクリックします。 **b.** iOS アプリにライセンスを割り当てる場合は、［はい］を選択します。ライセンスを割り当てない場合、または、アプリに割り当てるライセンスがない場合には、［いいえ］を選択します。 **c.** アプリにライセンスを割り当てる場合には、［アプリライセンス］ドロップダウンリストで、アプリに関連付ける VPP アカウントを選択します。 **d.** ［ライセンスの割り当て先］ドロップダウンリストで、ライセンスを［ユーザー］または［デバイス］に割り当てます。［アプリライセンス］ドロップダウンリストが指定されていない場合、［ライセンスの割り当て先］ドロップダウンリストは使用できません。 **e.** ［追加］をクリックし、もう一度［追加］をクリックします。 支払い済みのアプリをインストールするには、ユーザーはデバイスで手順に従って組織の VPP に登録する必要があります。一度はこのタスクを完了する必要があります。 メモ：使用可能な数より多くのライセンスにアクセスを付与した場合は、使用可能なライセンスにアクセスしている最初のユーザーがアプリをインストールできます。

8. ［追加］をクリックし、もう一度［追加］をクリックします。

アプリグループの編集

1. メニューバーで［アプリ］ **>** ［アプリグループ］をクリックします。
2. 編集するアプリグループをクリックします。
3. 必要な編集を加えます。
4. ［保存］をクリックします。

ユーザーアカウントに割り当てられたアプリおよびアプリグループのステータスの表示

1. メニューバーで［アプリ］をクリックします。
2. 表示するアプリまたはアプリグループの［適用されるユーザー］の下にある数字をクリックします。
3. ［x ユーザーに割り当て済み］をクリックして、このアプリが割り当てられているユーザーアカウントを表示します。
4. ［割り当て］列を表示して、アプリまたはアプリグループが、ユーザーアカウントまたはグループに直接割り当てられているかどうかを確認します。
5. ［ステータス］列を表示して、アプリがデバイスにインストールされているかどうかを確認します。以下に考えられるステータスを示します。

- インストール済み：アプリはユーザーのデバイスにインストールされています。ユーザーのプライバシーアクティベーションタイプの iOS デバイスの場合、このステータスはインストールが開始されたことのみ

を示します。BlackBerry UEM は、アプリがデバイスにインストールされた状態であるかどうかは確認できません。
- インストールされていません：このアプリは、ユーザーのデバイスにインストールされていません。または、ユーザーのデバイスから削除されました。
- インストールできません：アプリはユーザーのデバイスでサポートされていません。
- サポート対象外：デバイスの OS はこのアプリをサポートしていません。

ユーザーグループに割り当てられているアプリの表示

1. メニューバーで［アプリ］をクリックします。
2. 表示するアプリの［ユーザーに割り当て済み］の下の数字をクリックします。
3. ［x グループに割り当て済み］をクリックして、このアプリが割り当てられているユーザーグループを表示します。

アプリリストの表示およびカスタマイズ

アプリリストをカスタマイズして、表示する情報を選択できます。フィルターを使用すると、タスクに関連する情報のみを表示できます。アプリリストでは、列を選択して並べ替えることができます。アプリリストでは、列の追加や削除を行えます。1 つまたは複数のフィルターを使用して、表示されるアプリを制御できます。たとえば、アプリリストをアプリタイプ、OS カテゴリ、セキュリティ保護タイプ、およびアプリレーティングでフィルターできます。

アプリリストに表示する情報の選択

1. メニューバーで［アプリ］ > ［すべてのアプリ］をクリックします。
2. アプリリストの一番上で ＋ をクリックして、次のいずれかの操作を実行します。
   - ［すべて選択］をクリックするか、または表示する列ごとにチェックボックスをオンにします。
   - 削除する各列のチェックボックスをオフにします。
   - デフォルトの選択に戻すには、［リセット］をクリックします。
3. 列の順番を変更するには、列見出しをクリックして左または右にドラッグします。

アプリリストのフィルター

複数選択を有効にすると、複数のフィルターを選択してからそれらを適用でき、各カテゴリで複数のフィルターを選択できます。複数選択をオフにすると、各フィルターは選択時に適用され、各カテゴリで選択できるフィルターは 1 つのみになります。

1. メニューバーで［アプリ］ > ［すべてのアプリ］をクリックします。
2. をクリックして、複数選択の有効または無効を切り替えます。
3. ［フィルター］の下で 1 つ以上のカテゴリを展開します。

   各カテゴリには、結果が表示されるフィルターのみが含まれ、各フィルターは適用時に表示される結果の件数を示します。
4. 次の操作のいずれかを実行します。

- 複数選択を有効にした場合は、適用するフィルターごとにチェックボックスをオンにして［送信］をクリックします。
- 複数選択を無効にした場合は、適用するフィルターをクリックします。

5. 右ペインで、必要に応じて［すべて削除］をクリックするか、削除する各フィルターの ✕ をクリックします。

アプリリストの更新

アプリリストを更新して、アプリリスト内の BlackBerry 10、iOS、Windows 10、および BlackBerry Dynamics アプリに関する最新情報を確認できます。

Android Enterprise デバイスをサポートするように BlackBerry UEM を設定した場合は、Android アプリのアプリ情報を更新することもできます。Android Enterprise のサポートを設定する前に Android アプリを追加した場合、またはアプリの権限が変化した場合は、Android Enterprise デバイスでアプリ情報を更新して、これらを利用できるようにする必要があります。Android Enterprise 設定を変更した場合も、更新が必要になります。

Android Enterprise のサポートを設定していない場合は、Google Play アプリの情報を手動で更新する必要があります。アプリ情報を更新しても、ユーザーのデバイスのアプリが更新されるわけではありません。ユーザーは、個人用アプリの更新通知を受信するのと同じ方法で、仕事用アプリの更新通知を受信します。

iOS アプリのアプリ情報を自動的に更新するよう Apple VPP アカウントを設定した場合は、アプリリストのアプリを更新する必要があります。

1. メニューバーで［アプリ］をクリックします。
2. ⟲ をクリックします。

Android Enterprise アプリのアプリケーション権限の更新

管理者がユーザーに代わってアプリ権限を承諾しない場合、Android Enterprise デバイスにアプリを割り当てることはできません。アプリをアプリリストに追加する際には、アプリ権限を承諾する必要があります。アプリの権限が後から変更された場合は、アプリ権限を再承諾する必要があることがあります。

また Google Play コンソールからアプリの承認を解除したりアプリを削除したりすることができますが、アプリはその後も利用可能であるかのように BlackBerry UEM に表示されます。BlackBerry UEM との間で権限を同期する場合、Google Play でアプリ情報を更新する必要があります。

1. メニューバーで［アプリ］をクリックします。
2. ⟲ をクリックします。
3. アプリリストでは、権限の変更があったアプリには注意アイコンとステータスメッセージが表示されます。アプリリストを更新すると、次のステータスが発生する可能性があります。問題を解決するには、次のいずれかのタスクを実行してください。

ステータス	手順
アプリの権限を再承諾	Google Play コンソールでアプリ権限が変更されています。アプリを管理できるようにするには、アプリ権限を再受諾する必要があります。権限を再受諾するには、次の手順を実行します。 **a.** ［アプリの権限を再承諾］をクリックします。 **b.** ［承諾］をクリックします。
BlackBerry UEM からアプリを削除	Google Play コンソールからアプリの承認が解除されていますが、BlackBerry UEM からはアプリが削除されていません。デバイスでこのアプリを引き続き管理する場合は、Google Play コンソールでアプリを承認する必要があります。アプリを管理しない場合は、次の手順を実行します。 **a.** ［**BlackBerry UEM** からアプリを削除］をクリックします。 **b.** ［削除］をクリックします。
Google Play でアプリを承認	Google Play コンソールでアプリの承認が解除されています。アプリを管理できるようにするには、Google Play コンソールでアプリを承認する必要があります。アプリを承認するには、次の手順を実行します。 **a.** ［**Google Play** でアプリを承認］をクリックします。 **b.** アプリの権限を承諾します。 **c.** ［承諾］をクリックします。
アプリは Google Play に追加されており、BlackBerry UEM に追加される	アプリが Google Play for Work コンソールに追加されている一方で、BlackBerry UEM には追加されていない場合、そのアプリはアプリリストの更新時に、BlackBerry UEM に自動的に同期されます。操作を実行する必要はありません。

4. ［閉じる］をクリックします。

Android Enterprise アプリのアプリ権限の承諾

Android Enterprise デバイス上のアプリを管理するには、アプリ権限を承諾する必要があります。アプリ権限は、アプリを BlackBerry UEM に追加するときや、アプリリストの更新後に承諾できます。このタイミングでアプリ権限を承諾しなかった場合は、アプリ情報の画面からアプリ権限を承諾することもできます。権限が変更されたアプリは、アプリリストに注意アイコンとともに表示されます。

作業を始める前に：

- アプリリストを更新します。

1. メニューバーで［アプリ］をクリックします。
2. 権限を承諾するアプリをクリックします。
3. ［アプリの権限を承諾］をクリックして、アプリ権限を承諾します。
4. ［承諾］を選択します。

5. ［保存］をクリックします。

Microsoft Intune で保護されているアプリの管理

Microsoft Intune は、MDM と MAM の両方の機能を備えたクラウドベースの EMM サービスです。Intune MAM は、アプリ（Office 365 アプリなど）にセキュリティ機能を提供しており、アプリ内でデータを保護します。例えば、Intune では、アプリ内でのデータ暗号化を要求したり、コピー、貼り付け、印刷、［名前を付けて保存］コマンドの使用を禁止したりできます。

iOS および Android デバイスで、Intune アプリ保護ポリシーを使用して Office 365 アプリ内のデータを保護する場合は、BlackBerry UEM を使用してデバイスを管理しながら、保護機能を適用できます。UEM を Intune に接続して、UEM 管理コンソール内から Intune アプリ保護ポリシーを設定できます。

Intune で保護されているアプリを展開するには、UEM と Intune の間で最初に接続を設定する必要があります。詳細については、「オンプレミスの BlackBerry UEM と Microsoft Azure の接続設定関連の資料」または「UEM Cloud の設定関連の資料」を参照してください。

Intune は、アプリ保護ポリシーを使用してアプリを保護します。UEM 管理コンソールからアプリを保護する場合は、Intune アプリ保護プロファイルを作成します。UEM でアプリ保護プロファイルを作成または更新すると、設定が Intune に送信され、対応するアプリ保護ポリシーの設定が更新されます。

メモ：Intune でアプリ保護ポリシーを更新した場合、変更は BlackBerry UEM と同期されません。UEM 内でアプリ保護プロファイルを作成した場合は、Intune 内からは対応するポリシーを更新しないでください。

BlackBerry UEM を設定して Microsoft Intune と同期する

Microsoft Intune は、MDM と MAM の両方の機能を備えたクラウドベースの EMM サービスです。Intune MAM は、アプリ（Office 365 アプリなど）にセキュリティ機能を提供しており、アプリ内でデータを保護します。例えば、Intune では、アプリ内でのデータ暗号化を要求したり、コピー、貼り付け、印刷、［名前を付けて保存］コマンドの使用を禁止したりできます。

BlackBerry UEM を Microsoft Intune に接続すると、UEM 管理コンソールを Microsoft Intune アプリ保護プロファイルの作成 に使用できます。

BlackBerry UEM が Microsoft Intune に同期するように設定する前に、BlackBerry UEM を Microsoft Azure に接続して、Azure にエンタープライズエンドポイントを作成する必要があります。詳細については、「オンプレミスの設定関連の資料」または「UEM Cloud の設定関連の資料」を参照してください。

BlackBerry UEM を設定して Microsoft Intune と同期する

1. ［設定］ > ［外部統合］ > ［**Microsoft Intune**］をクリックします。
2. Azure でエンタープライズアプリケーションを作成したときに Azure ポータルからコピーした情報を入力します。
   - **Azure** テナント **ID**：アプリケーションを登録した AzureActive Directory の ID
   - クライアント **ID**：Azureアプリケーションの登録によって生成されたアプリケーション ID
   - クライアントキー：Azure アプリケーションの登録によって生成されたクライアントシークレット
3. 次の認証オプションのいずれかを選択します。
   - クライアント資格情報認証：ユーザー名とパスワードを入力します。ユーザー名は、Intune にアクセスするために BlackBerry UEM が使用する管理者アカウントです。Intune 管理者アカウントに必要な権限の詳細については、https://support.blackberry.com/community にアクセスして、記事 50341 を参照してください。パスワードは、Intune 管理者アカウントのパスワードです。

- モダン認証：このオプションを使用すると、モダン認証を使用して連携された ID プロバイダーに対して認証できます。［返信 **URL**］フィールドには、BlackBerry UEM 管理コンソールの Web アドレスが自動的に入力されます。Microsoft Azure でエンタープライズエンドポイントを作成する場合、この URL が必要です。詳細については、「オンプレミスの設定関連の資料」または「UEM Cloud の設定関連の資料」を参照してください。

4. ［次へ］をクリックします。

終了したら： Microsoft Intune アプリ保護プロファイルの作成

Microsoft Intune アプリ保護プロファイルの作成

BlackBerry UEM で Microsoft Intune アプリ保護プロファイルを作成または更新すると、プロファイル設定が Intune に送信され、対応するアプリ保護ポリシーが更新されます。Microsoft Intune アプリ保護プロファイルは、ディレクトリにリンクされたグループにのみ割り当てることができます。

作業を始める前に：

- 「オンプレミス設定関連の資料」または「UEM Cloud 設定関連の資料」の指示に従って、BlackBerry UEM と Microsoft Intune との間の接続を設定します。接続が設定されていない場合、Microsoft Intune アプリ保護プロファイルは［ポリシーとプロファイル］ページに表示されません。
- Android デバイスの場合、Microsoft Company Portal アプリがデバイスにインストールされていることを確認します。詳細については、「https://docs.microsoft.com/intune/app-protection-enabled-apps-android」を参照してください。

1. メニューバーで［ポリシーとプロファイル］をクリックします。

2. ［保護］ **>** ［**Microsoft Intune** アプリ保護プロファイル］をクリックします。

3. ＋ をクリックします。

4. プロファイルの名前と説明を入力します。

5. デバイスタイプごとに適切な値を設定します。

6. ［追加］をクリックします。

終了したら： Intune アプリ保護プロファイルを、ディレクトリにリンクされたグループに割り当てます。

Microsoft Intune アプリ保護プロファイル設定

Microsoft Intune アプリ保護プロファイルは、以下のデバイスタイプでサポートされています。

- iOS
- Android

共通：**Microsoft Intune** アプリ保護プロファイル設定

Intune アプリ保護プロファイル設定	説明
相互操作性	
Intune と Dynamics アプリの間で相互操作性を有効にする	この設定では、BlackBerry Dynamics アプリが、Microsoft Office 365 アプリなど、Intune で管理されているデバイス上のアプリと相互操作できるかどうかを指定します。 BlackBerry Dynamics アプリと Intune で管理されているアプリの間で相互操作性を確保するには、ユーザーのデバイスに BlackBerry Enterprise BRIDGE をインストールする必要があります。 詳細については、『BlackBerry Enterprise BRIDGE 管理ガイド』を参照してください。
データの再配置	
他のアプリへのデータ転送をアプリに許可する	この設定では、Intune で管理されているアプリがデータの送信先にできるアプリを指定します。 使用できる値： • ポリシー管理アプリ：このオプションを使用すると、Intune で管理されている他のアプリにのみデータを転送できます。 • すべてのアプリ • None
他のアプリからのデータ受信をアプリに許可する	この設定では、アプリ保護ポリシーで管理されているアプリがデータを受信できると指定しています。 使用できる値： • ポリシー管理アプリ：このオプションを使用すると、Intune で管理されている他のアプリからのみデータを転送できます。 • すべてのアプリ • None
［名前を付けて保存］を禁止する	この設定では、［名前を付けて保存］オプションをアプリで有効にするかどうかを指定します。 オンプレミス環境でこの設定を選択した場合、［名前を付けて保存］オプションを使用して、仕事用データのみを以下の 1 つ以上の場所に保存することを許可できます。 • ローカルストレージ • OneDrive for Business • SharePoint

Intune アプリ保護プロファイル設定	説明
相互操作性	
他のアプリによる切り取り、コピー、貼り付けを制限する	この設定では、アプリで切り取り、コピー、貼り付けを利用できるレベルを指定します。 使用できる値： • ブロック済み：このオプションは、目的のアプリとその他のアプリの間で、切り取り、コピー、貼り付けを禁止します。 • ポリシー管理アプリ：このオプションは、目的のアプリと Intune で管理されているその他のアプリの間で、切り取り、コピー、貼り付けを許可します。 • 貼り付け関連のポリシー管理アプリ：このオプションは、あらゆるアプリからのデータ貼り付けを許可しますが、ポリシー管理アプリから切り取られた、またはコピーされたデータは、Intune で管理されている他のアプリにのみ貼り付けることができます。 • あらゆるアプリ：このオプションは、デバイスにあるすべてのアプリ間で、切り取り、コピー、貼り付けを許可します。
監視対象ブラウザーに表示する Web コンテンツを制限する	この設定では、Intune で管理されているブラウザーで、アプリ内の Web リンクを開く必要があるかどうかを指定します。
コンタクトの同期を無効にする	この設定では、アプリがデバイス上のネイティブの連絡先アプリに連絡先を保存できるかどうかを指定します。
印刷を無効にする	この設定では、アプリでデータを印刷できるようにするかどうかを指定します。
アクセス	
アクセス時に会社の資格情報を要求する	この設定では、ユーザーがアプリにアクセスする場合に組織の資格情報を使用する必要があるかどうかを指定します。 このルールが選択されている場合、PIN または指紋の要件よりも優先されます。
脱獄やルート化が行われたデバイスでは監視対象アプリの実行をブロックする	この設定では、脱獄やルート化が行われたデバイスでアプリを実行できるかどうかを指定します。
アクセス要件のタイムアウト期間を再チェックする	この設定では、アプリが開いているときに、アプリのアクセス要件を再チェックする頻度を分で指定します。
オフライン猶予期間	この設定では、デバイスがオフラインになっているときに、アプリのアクセス要件を再チェックする頻度を分で指定します。

Intune アプリ保護プロファイル設定	説明
相互操作性	
アプリデータの消去に至るオフライン期間	この設定では、デバイスがオフラインになって以降、デバイスからアプリデータを消去するまで期間を日数で指定します。
アクセス時に PIN を要求する	この設定では、ユーザーがアプリにアクセスする場合に PIN を入力する必要があるかどうかを指定します。このオプションが選択されている場合、ユーザーはアプリを初めて実行するときに PIN の入力を求められます。 ［アクセス時に会社の資格情報を要求する］設定が選択されている場合は、この設定がこのルールよりも優先されます。
PIN リセットまでの試行回数	この設定では、PIN のリセットが強制される前に、ユーザーが実行できる PIN 入力の試行回数を指定します。
単純な PIN を許可する	この設定では、ユーザーが 1234 または 1111 のような単純な PIN シーケンスを使用できるかどうかを指定します。
PIN 長	この設定は、PIN の最小桁数を指定します。
PIN の代わりに指紋を許可する	この設定では、ユーザーがアプリにアクセスする際に PIN ではなく指紋を使用できるかどうかを指定します。
デバイス PIN が管理されている場合はアプリ PIN を無効にする	この設定では、デバイスでパスワードが要求される場合に、アプリで PIN のプロンプトを表示するかどうかを指定します。 この設定を選択すると、デバイスの UEM IT ポリシーでパスワードが必要とされる場合に、Android デバイスではアプリ PIN が要求されません。iOS デバイスでアプリ PIN を無効にするには、Intune でデバイス PIN を要求する必要があります。

iOS ：Microsoft Intune アプリ保護プロファイル設定

Intune アプリ保護プロファイル設定	説明
アプリデータの暗号化	この設定では、アプリデータを暗号化するタイミングを指定します。 使用できる値： • デバイスがロックされるとき：このオプションを選択すると、デバイスのロック時にすべてのアプリデータが暗号化されます。 • デバイスがロックされ、ファイルが開いているとき：このオプションを選択すると、デバイスのロック時にアプリデータが暗号化されます。開いているファイルのデータは暗号化されません。 • デバイスの再起動後：このオプションを選択すると、デバイスが再起動され、最初のロック解除が行われるまでの間に、アプリデータが暗号化されます。 • デバイスの設定を使用：このオプションを選択すると、デバイスのデフォルト設定に従って、アプリデータが暗号化されます。このオプションを選択すると、ユーザーはデバイスでパスワードを設定する必要があります。
iTunes と iCloud のバックアップの防止	この設定では、アプリデータを iTunes または iCloud にバックアップできるようにするかどうかを指定します。
アプリパッケージ ID	この設定では、このプロファイルを適用するアプリのパッケージ ID を指定します。パッケージ ID を入力することも、Intune で管理している利用可能なアプリのリストから選択することもできます。
最低限の iOS オペレーティングシステムを要求する	この設定を選択して、そのアプリを使用する場合の最低限の iOS バージョンを指定します。デバイスの iOS バージョンが要件を満たしていない場合、ユーザーはアプリを使用できません。小数点が 1 つのバージョンを指定できます（たとえば、12.0）。
最低限の iOS オペレーティングシステムを要求する（警告のみ）	この設定を選択して、そのアプリを使用する場合に推奨される最低限の iOS バージョンを指定します。デバイスの iOS バージョンが要件を満たしていない場合、ユーザーには通知（却下可能）が表示されます。小数点が 1 つのバージョンを指定できます（たとえば、12.0）。
最低限のアプリバージョンを要求する	この設定を選択して、そのアプリを使用する場合の最低限のアプリバージョンを指定します。デバイスのアプリバージョンが要件を満たしていない場合、ユーザーはアプリを使用できません。小数点が 1 つのバージョンを指定できます（たとえば、4.2）。 通常、アプリが違えばバージョン管理スキームも異なるため、最低限のアプリバージョンを指定する場合は、アプリごとに個別にプロファイルを作成する必要があります。

Intune アプリ保護プロファイル設定	説明
最低限のアプリバージョンを要求する（警告のみ）	この設定を選択して、そのアプリを使用する場合に推奨される最低限のアプリバージョンを指定します。デバイスのアプリバージョンが要件を満たしていない場合、ユーザーには通知（閉じることができる）が表示されます。小数点が 1 つのバージョンを指定できます（たとえば、4.2）。 通常、アプリが違えばバージョン管理スキームも異なるため、最低限のアプリバージョンを指定する場合は、アプリごとに個別にプロファイルを作成する必要があります。

Android ：Microsoft Intune アプリ保護プロファイル設定

Intune アプリ保護プロファイル設定	説明
アプリデータの暗号化	この設定では、アプリデータを暗号化するかどうかを指定します。このルールを選択すると、アプリデータは、すべてのファイル入出力タスクで同期的に暗号化されます。
Android バックアップの防止	この設定では、アプリデータを Android バックアップサービスにバックアップできるかどうかを指定します。
画面キャプチャと Android Assistant のブロック	この設定では、保護対象アプリの使用時に、画面キャプチャと Android Assistant アプリのスキャン機能を許可するかどうかを指定します。この設定は、Android 6.0 以降でサポートされています。
アプリパッケージ ID	この設定では、このプロファイルを適用するアプリのパッケージ ID を指定します。パッケージ ID を入力することも、Intune で管理している利用可能なアプリのリストから選択することもできます。
最低限の Android バージョンを要求する	この設定を選択して、そのアプリを使用する場合の最低限の Android バージョンを指定します。デバイスの Android バージョンが要件を満たしていない場合、ユーザーはアプリを使用できません。 最大 4 つのリリース ID を指定できます。リリース識別子はピリオドで区切ります（例えば、10.3 または 10.3.14.2）。
最低限の Android バージョンを要求する（警告のみ）	この設定を選択して、そのアプリを使用する場合に推奨される最低限の Android バージョンを指定します。デバイスの Android バージョンが要件を満たしていない場合、ユーザーには通知（却下可能）が表示されます。 最大 4 つのリリース ID を指定できます。リリース識別子はピリオドで区切ります（例えば、10.3 または 10.3.14.2）。

Intune アプリ保護プロファイル設定	説明
最低限の Android パッチバージョンを要求する	この設定を選択して、そのアプリを使用する場合の最低限の Android パッチバージョンを指定します。デバイスの Android パッチバージョンが要件を満たしていない場合、ユーザーはアプリを使用できません。 日付形式 YYYY-MM-DD を使用して、バージョンを指定します。
最低限の Android パッチバージョンを要求する（警告のみ）	この設定を選択して、そのアプリを使用する場合に推奨される最低限の Android パッチバージョンを指定します。デバイスの Android パッチバージョンが要件を満たしていない場合、ユーザーには通知（却下可能）が表示されます。 日付形式 YYYY-MM-DD を使用して、バージョンを指定します。
最低限のアプリバージョンを要求する	この設定を選択して、そのアプリを使用する場合の最低限のアプリバージョンを指定します。デバイスのアプリバージョンが要件を満たしていない場合、ユーザーはアプリを使用できません。 最大 4 つのリリース ID を指定できます。リリース識別子はピリオドで区切ります（例えば、10.3 または 10.3.14.2）。 通常、アプリが違えばバージョン管理スキームも異なるため、最低限のアプリバージョンを指定する場合は、アプリごとに個別にプロファイルを作成する必要があります。
最低限のアプリバージョンを要求する（警告のみ）	この設定を選択して、そのアプリを使用する場合に推奨される最低限のアプリバージョンを指定します。デバイスのアプリバージョンが要件を満たしていない場合、ユーザーには通知（閉じることができる）が表示されます。 最大 4 つのリリース ID を指定できます。リリース識別子はピリオドで区切ります（例えば、10.3 または 10.3.14.2）。 通常、アプリが違えばバージョン管理スキームも異なるため、最低限のアプリバージョンを指定する場合は、アプリごとに個別にプロファイルを作成する必要があります。

Microsoft Intune で管理されているアプリの消去

iOS および Android デバイスでは、［アプリを消去］コマンドを使用して、Intune で管理されているアプリからデータを削除できます。このコマンドが送信されても、アプリはアンインストールされません。

1. メニューバーで［ユーザー］をクリックします。
2. データを消去するユーザーを検索してクリックします。
3. ［**<**デバイスモデル**>**（**Intune**）］タブをクリックします。
4. ［アプリを消去］をクリックします。

Apple VPP アカウントの管理

Apple Volume Purchase Program（VPP）を使用すると、インストールされている iOS アプリを一括で購入、配布、更新できます。VPP アカウントに関連付けられた iOS アプリの購入済みライセンスを配布できるように、Apple VPP アカウントを BlackBerry UEM にリンクできます。

Apple VPP アカウントの追加

Apple VPP アカウントの追加方法を確認するには、 当社の YouTube チャネルにアクセスしてください。

1. メニューバーで、［アプリ］ > ［**iOS App** ライセンス］をクリックします。
2. ［**Apple VPP** アカウントを追加］をクリックします。
3. VPP アカウントの名前とアカウントホルダー情報を入力します。
4. .vpp トークンファイルから 64 ビットコードをコピーし［**VPP** サービストークン］フィールドに貼り付けます。これは、VPP ストアからダウンロードした VPP アカウントホルダーのファイルです。
5. ［次へ］をクリックします。
6. アプリリストに追加するアプリを選択します。アプリが既にアプリリストに追加されている場合は、それを選択できません。
7. 更新されたバージョンが BlackBerry UEM で利用可能になったときにアプリを自動的に更新する場合は、［新しいバージョンが利用可能になったときにアプリを自動的に更新する］を選択します。この設定は、この VPP アカウントのすべての VPP アプリに適用されます。この設定は後で編集することができます。
8. アプリが BlackBerry UEM から削除されたときに、アプリをデバイスから削除するには、［システムからデバイスが削除されたらアプリをデバイスから削除する］を選択します。
9. iOS デバイスのアプリが iCloud オンラインサービスにバックアップされないようにするには、［アプリに対する **iCloud** バックアップを無効化］を選択します。このオプションは、必須としてマークされた種別のアプリにのみ適用されます。アプリの種別は、アプリをユーザーまたはグループに割り当てるときに設定します。
10. ［デフォルトのインストール方法］ドロップダウンリストで、次の操作のいずれかを実行します。
    - ユーザーに対して、iOS デバイスにアプリをインストールするようにプロンプトを 1 回表示する場合は、［一度確認する］を選択します。ユーザーは、このプロンプトを無視しても、後から、BlackBerry UEM Client アプリの仕事用アプリリストまたはデバイスの仕事用アプリアイコンからアプリをインストールできます。
    - ［確認しない］を選択します。ユーザーに通知されません。ユーザーは、BlackBerry UEM Client アプリの仕事用アプリリストまたはデバイスの仕事用アプリアイコンからアプリをインストールできます。
11. ［追加］をクリックします。

Apple VPP アカウントの編集

1. メニューバーで、［アプリ］ > ［**iOS App** ライセンス］をクリックします。
2. ✎ をクリックします。
3. 次の VPP アカウント情報の設定を編集します。
    - VPP アカウント名

- VPP アカウントホルダー情報
- VPP サービストークン
- 新しいバージョンが利用可能になったときに、アプリを自動的に更新します。

4. ［保存］をクリックします。

Apple VPP アカウント情報の更新

［アプリライセンス］ページを開くと、ライセンス情報が Apple VPP サーバーと自動的に同期され、最新情報が示されます。必要に応じて、BlackBerry UEM に追加したライセンス情報を手動で更新できます。

1. メニューバーで［アプリ］をクリックします。
2. ［**iOS App** ライセンス］をクリックします。
3. をクリックします。

Apple VPP アカウントの削除

作業を始める前に： VPP アカウントを削除する前に、ライセンスが関連付けられているアプリをユーザーから削除します。

1. メニューバーで［アプリ］をクリックします。
2. ［**iOS App** ライセンス］をクリックします。
3. をクリックします。
4. ［削除］をクリックします。

デバイスへの Apple VPP ライセンスの割り当て

iOS デバイスに Apple Volume Purchase Program（VPP）ライセンスを割り当てることができます。ユーザーに代わって VPP のライセンスをデバイスに割り当てるので、アプリのインストールに Apple ID が不要になり、ユーザーのプロセスが簡略化されます。また、アプリは、ユーザーの購入履歴に表示されずにインストールします。アプリの既存の割り当てタイプを、「ユーザー割り当て」から「デバイス割り当て」に変更した場合は、ユーザーがアプリを再インストールする必要があります。再インストール後に、アプリが BlackBerry UEM 管理コンソールに表示されます。

デバイスへの VPP ライセンスの割り当ては、MDM 制御 でアクティブ化されている iOS デバイスでのみサポートされます。

次のいずれかのグループおよびアカウントにアプリが追加されているときに、VPP ライセンスをデバイスに割り当てることができます。

- ユーザーアカウント
- アプリグループ
- ユーザーグループ
- デバイスグループ

Apple VPP ライセンスの割り当ての表示

ドメインでの Apple VPP ライセンスの割り当てステータスを表示できます。

1. メニューバーで、［アプリ］ > ［**iOS App** ライセンス］をクリックします。
2. 複数の Apple VPP アカウントを保有している場合は、VPP ライセンスの割り当てを表示する VPP アカウントをクリックします。

   ドメインの iOS アプリごとに、次の VPP ライセンス情報を表示できます。

   - 使用可能な VPP ライセンス数
   - 使用済みの VPP ライセンス数
3. アプリの［使用済みライセンス］列で、使用済みのライセンスリンクをクリックします。

   指定したアプリについて、次のアプリライセンスの割り当て情報を表示できます。

   - アプリのライセンスが与えられているユーザー名
   - アプリのライセンスの割り当て先がユーザーアカウントか、デバイスか
   - VPP ライセンスが使用されているか、使用されていないか
   - アプリがインストールされているか、インストールされていないか
4. ［閉じる］をクリックします。

指定したシングルアプリまたは複数のアプリにデバイスを制限

監視対象の iOS デバイスで、アプリロックモードプロファイルを使用して、1 つのアプリのみを実行するようにデバイスを制限できます。Android Enterprise デバイス、Samsung Knox MDM を使用して管理された Android デバイス、MDM を使用して管理された Windows 10 Enterprise および Windows 10 Education デバイスでは、アプリロックモードを使用して、指定したアプリにデバイスを制限できます。たとえば、トレーニング目的や販売時点管理（POS）のデモ用に、アクセスをシングルアプリに制限することができます。iOS デバイスでは、デバイスのホームボタンは無効になり、ユーザーがデバイスをスリープ解除するか再起動すると、アプリは自動的に開かれます。

アプリロックモードプロファイルを作成

デバイスで実行するシングルアプリまたは複数のアプリを指定し、ユーザーに対して有効にするデバイス設定を選択します。監視対象の iOS デバイスでは、アプリリストでアプリを選択するか、アプリのバンドル ID を指定するか、または組み込みのアプリを選択することができます。Samsung Knox MDM を使用して管理されている Android Enterprise デバイスおよび Android デバイスの場合、アプリリストからアプリを追加するか、アプリパッケージ識別子を指定できます。MDM を使用して管理されている Windows 10 デバイスの場合、アプリのアカウントとアプリケーションユーザーモデル ID（AUMID）を指定します。AUMID を確認するには、docs.microsoft.com にアクセスしてください。

メモ： ユーザーがデバイスにこのアプリをインストールしていない場合は、このユーザーまたはユーザーグループにプロファイルを割り当てるときに、このデバイスはこのアプリケーションに制限されません。

作業を始める前に： アプリリストを使用してアプリを選択する予定の場合は、アプリがアプリリストで使用可能であることを確認します。

1. メニューバーで［ポリシーとプロファイル］をクリックします。
2. ［ポリシー］ > ［アプリロックモード］をクリックします。
3. ＋ をクリックします。
4. プロファイルの名前と説明を入力します。
5. プロファイルを適用するデバイスタイプを指定します。
6. 次のタスクのいずれかを実行します。

タスク	手順
iOS デバイスで実行するアプリを指定する	［デバイスで実行するアプリを指定］セクションで、次の操作のいずれかを実行します。 • ［アプリリストからアプリを選択］をクリックし、［アプリを追加］をクリックして、リスト内のアプリをクリックします。 • ［アプリのアプリパッケージ **ID** を指定］をクリックして、アプリパッケージ ID を入力します（たとえば、<*com.*会社.アプリ名>）。有効な文字は、大文字、小文字、0〜9、ハイフン（-）、およびピリオド（.）です。 • ［組み込みの **iOS** アプリを選択］をクリックして、ドロップダウンリストからアプリを選択します。
Android デバイスで実行するアプリを指定する	［デバイスで実行するアプリを指定］セクションで、アプリの表の横にある ＋ をクリックし、次の操作を行って、デバイスを制限するアプリを指定します。 • ［アプリのアプリパッケージ **ID** を指定］をクリックして、アプリパッケージ ID（たとえば、<*com.*会社.アプリ名>）およびアプリの名前を入力します。有効な文字は、大文字、小文字、0〜9、ハイフン（-）、およびピリオド（.）です。［追加］をクリックします。 • ［アプリリストからアプリを選択］をクリックして、リスト内のアプリをクリックします。［追加］をクリックします。 Android Enterprise デバイスの場合、デバイスを特定のアプリに制限する場合は、［デバイスをシングルアプリに制限］をクリックしてアプリを選択します。この設定で指定したアプリは、デバイスが起動したときに自動的に開き、ユーザーは常にそのアプリに戻ります。アプリは、必要に応じてプロファイルで指定した他のアプリにアクセスできます。
Windows 10 デバイスで実行するアプリを指定する	• ［アカウント］フィールドに、ドメイン名とユーザー名を含むユーザーアカウント名を入力します。ローカルユーザーの場合は、ドメイン名の代わりにデバイス名を使用します。 • ［アプリケーションユーザーモデル **ID**］フィールドに、アプリの AUMID を入力します（たとえば、計算機アプリの AUMID は `Microsoft.WindowsCalculator_8wekyb3d8bbwe!App` です）。

7. iOS および Android デバイスの場合、［管理者対応の設定］で、アプリの使用時にユーザーに対して有効にするオプションを選択します。
8. iOS デバイスでは、［ユーザー対応の設定］で、ユーザーが有効にできるオプションを選択します。
9. ［追加］をクリックします。

終了したら： 必要に応じて、プロファイルをランク付けします。

個人用アプリリストの表示

デフォルトでは、サポート対象アクティベーションタイプでアクティベーションされたデバイスを対象として、インストール済みの個人用アプリのリストが BlackBerry UEM に表示されます。

BlackBerry UEM 管理コンソールでは、特定のユーザーアカウントのデバイス詳細ページ、またはすべてのユーザーアカウントの［個人用アプリ］ページで、個人用アプリのリストを表示できます。『管理コンソールでの個人用アプリリストの表示』を参照してください。

メモ： Knox Workspace 専用デバイスとしてアクティベーションされる前に既にデバイスにインストールされていたアプリを表示することもできます。

次のアクティベーションタイプでアクティベーションされたデバイスでは、個人用アプリのリストを表示できません。

- iOS および Android ：ユーザーのプライバシー
- Android ：仕事用と個人用 - ユーザーのプライバシー
- Samsung Knox ：仕事用と個人用 - ユーザーのプライバシー - （Samsung Knox）
- BlackBerry 10 ：仕事用と個人用 - 会社
- iOS および Android ：BlackBerry 2FA 専用のデバイス登録

すべてのアクティベーションタイプを対象として、個人用アプリのコレクションをオフにするには、エンタープライズ管理エージェントプロファイルの［個人用アプリのコレクションを許可する］設定をオフにする必要があります。詳細については、「個人用アプリコレクションのオフ」を参照してください。

管理コンソールでの個人用アプリリストの表示

ユーザーの個人用領域にインストールされているアプリについて、次の情報を表示できます。

- アプリ名
- アプリバージョン
- アプリがサポートする OS
- アプリがインストールされているユーザーアカウントの数

作業を始める前に： 個人用領域にあるインストール済みアプリのリストを BlackBerry UEM で受信できるアクティベーションタイプで、アクティベーションプロファイルを作成し、これをユーザーまたはグループに割り当てます。

1. メニューバーで［アプリ］ > ［個人用アプリ］をクリックします。
2. アプリの［アプリ名］列で、アプリ名をクリックします。

   特定のアプリについて、可能な場合は、一般のアプリのストアで対応するアプリの詳細を表示できます。
3. アプリの［インストール番号］列で、インストール番号をクリックします。

   特定のアプリでは、ユーザーアカウントとともに、アプリケーションがインストールされているデバイスを表示できます。

個人用アプリコレクションのオフ

デフォルトでは、サポート対象アクティベーションタイプでアクティベーションされたデバイスを対象として、インストール済みの個人用アプリのリストが BlackBerry UEM に表示されます。すべてのアクティベーションタイプで、個人用アプリコレクションをオフにできます。

1. メニューバーで［ポリシーとプロファイル］をクリックします。
2. ［エンタープライズ管理エージェント］を展開します。
3. 変更するプロファイルの名前をクリックします。
4. ✎ をクリックします。
5. 各デバイスタイプの［個人用アプリのコレクションを許可する］チェックボックスをオフにします。
6. ［保存］をクリックします。

アプリのレーティングとレビュー

組織内のユーザーが、iOS、Android、および Windows 10 アプリに対するレーティングやレビューを提供できるかどうか、および内部カスタムアプリや BlackBerry UEM アプリリストに追加し、一般アプリストアからダウンロードしたアプリについて他のユーザーが提供したレビューを確認できるかどうかを指定します。アプリについて送信されたレーティングとレビューは、環境外のユーザーには表示されません。レビューには最大 1000 文字を含めることができます。

ユーザーは、レビューを提供せずにアプリのレーティングを行えますが、レビューを提供するときにはアプリのレーティングを行う必要があります。ユーザーが送信したレーティングとレビューは、BlackBerry UEM コンソールに保存され、ほぼリアルタイムで表示できます。アプリの平均レーティング、送信されたレビュー数を確認でき、アプリの個々のレビューを閲覧できます。必要に応じて、レーティングとレビューを削除することもできます。

複数のバージョンのカスタムアプリを BlackBerry UEM に追加して、あるバージョンのアプリについてアプリレーティングとレビューを有効にした場合は、指定されている設定が、カスタムアプリのすべてのバージョンに適用されます。平均レーティングおよびレビュー数と、さまざまなバージョンのカスタムアプリについて送信されたアプリレーティングおよびレビューには、バージョンごとに同じ情報が表示されます。

デフォルトでは、BlackBerry UEM 管理コンソールのアプリリストに新しいアプリを追加すると、ユーザーは、そのアプリのレーティングやレビューの提供、組織の他のユーザーが提供したレビューの確認が可能です。デフォルトでは、アプリのレーティングとレビューは、既存のアプリでは無効になっていますが、必要に応じてこの機能を有効にすることができます。アプリのレーティングとレビューがアプリで有効になっている場合は、BlackBerry UEM に追加されているアプリのあらゆるバージョンにこの権限が適用されます。

次のデバイスでは、アプリのレーティングとレビューはサポートされていません。

- BlackBerry 10 デバイス
- Android Enterprise デバイス

すべてのアプリに対するアプリのレーティングおよびレビューの有効と無効の切り替え

BlackBerry UEM に追加しているすべてのアプリに対してアプリのレーティングおよびレビューを有効または無効にし、そのレビューおよびレーティングに対するユーザーの介入のレベルを設定できます。

メモ : アプリのレーティングおよびレビュー設定は、設定を保存した後に BlackBerry UEM に追加したアプリにのみ適用されます。

1. メニューバーで、［設定］ > ［アプリ管理］をクリックします。
2. ［レーティングとレビュー］をクリックします。
3. アプリのレーティングおよびレビューを有効にするには、［アプリのレーティングとレビューを有効にする］を選択します。
   - アプリのレーティング、レビューの入力、環境内の他のユーザーが入力したレビューの閲覧をユーザーに許可する場合は、［パブリックモード］を選択します。
   - アプリのレーティングとレビューの入力のみをユーザーに許可する場合は、［プライベートモード］を選択します。ユーザーは、他のユーザーが入力したレビューを表示できません。レビューは、BlackBerry UEM 管理コンソールで表示できます。

- アプリの評価、レビューの入力、他のユーザーが入力したレビューの閲覧をユーザーに許可しない場合は、［無効］を選択します。

4. アプリのレーティングとレビューを無効にするには、［アプリのレーティングとレビューを有効にする］をオフにします。
5. ［保存］をクリックします。

既存のアプリに関してアプリのレーティングとレビューを有効にする

アプリのレーティング、アプリに関するレビューの入力、他のユーザーが入力したレビューの表示など、これらの操作をユーザーに許可するかどうかを指定すると、指定した権限はすべてのバージョンのアプリに適用されます。

1. メニューバーで［アプリ］をクリックします。
2. アプリをクリックします。
3. ［設定］タブの［アプリのレーティングとレビュー］ドロップダウンリストで、次のいずれかのアクションを実行します。
   - アプリのレーティング、レビューの入力、環境内の他のユーザーが入力したレビューの閲覧をユーザーに許可する場合は、［パブリックモード］を選択します。
   - アプリのレーティングとレビューの入力のみをユーザーに許可する場合は、［プライベートモード］を選択します。ユーザーは、他のユーザーが入力したレビューを表示できません。レビューは、BlackBerry UEM 管理コンソールで表示できます。
   - アプリのレーティング、レビューの入力、他のユーザーが入力したレビューの表示をユーザーに許可しない場合は、［無効］を選択します。
4. ［保存］をクリックします。

管理コンソールでのアプリレビューの表示

アプリの全体的な平均レーティングと、アプリのユーザーが提供する個々のレーティングおよびレビューを表示できます。

1. メニューで［アプリ］をクリックします。
2. オプションで、［アプリレーティング］列をクリックして、レーティングとレビューが有効になっているアプリを順序付けます。

   レーティングとレビューを有効にしたアプリは、次の順序で表示されます。

   a. レーティングとレビューを含むアプリ
   b. レーティングとレビューを含まないアプリ
   c. レーティングが無効になっているアプリ
   d. レーティングとレビューをサポートしていないアプリ
3. アプリをクリックします。
4. ［**<**レビュー番号**>** レビュー］タブをクリックします。

アプリのレーティングとレビューの設定を複数のアプリに指定する

アプリのレーティング、アプリに関するレビューの入力、他のユーザーが入力したレビューの表示など、これらの操作をユーザーに許可するかどうかを指定すると、指定した権限はすべてのバージョンのアプリに適用されます。

1. メニューで［アプリ］をクリックします。
2. 次の操作のいずれかを実行します。
   - アプリリストの一番上にあるチェックボックスをオンにして、すべてのアプリを選択します。
   - アプリのレーティングとレビューを有効にする各アプリで、チェックボックスをオンにします。
3. をクリックします。
4. 次の権限のいずれかを選択します。
   - アプリのレーティング、レビューの入力、環境内の他のユーザーが入力したレビューの閲覧をユーザーに許可する場合は、［パブリックモード］を選択します。
   - アプリのレーティングとレビューの入力のみをユーザーに許可する場合は、［プライベートモード］を選択します。ユーザーは、他のユーザーが入力したレビューを閲覧できません。レビューは、BlackBerry UEM 管理コンソールで表示できます。
   - アプリのレーティング、レビューの入力、他のユーザーが入力したレビューの表示をユーザーに許可しない場合は、［無効］を選択します。
5. ［保存］をクリックします。

アプリのレーティングとレビューの削除

必要に応じて、アプリのレーティングとレビューを削除できます。

1. メニューで［アプリ］をクリックします。
2. オプションで、［アプリレーティング］列をクリックして、レーティングとレビューが有効になっているアプリを順序付けます。
3. レーティングとレビューが有効になっているアプリをクリックします。
4. ［アプリの詳細］画面で［**<**レビュー番号**>** レビュー］タブをクリックします。
5. ［すべて選択］をクリックするか、または削除する各レビューの横にあるチェックボックスをオンにします。
6. をクリックします。
7. ［削除］をクリックします。
8. ［保存］をクリックします。

iOS デバイスでのアプリのレイアウト設定

管理者は、ユーザーの iOS デバイスに表示されるアプリの順序を制御できます。このプロファイルは、監視対象デバイスでのみ使用できます。

1. メニューバーで［ポリシーとプロファイル］をクリックします。
2. ［カスタム］ > ［ホーム画面のレイアウト］をクリックします。
3. ＋ をクリックします。
4. ［アプリの種類］リストで、画面にドラッグアンドドロップするアプリの種類（たとえば、組み込みアプリ）を選択します。
5. アプリリストからホーム画面にアイコンをドラッグアンドドロップします。
6. ［追加］をクリックします。

iOS デバイスでのアプリ通知の管理

アプリ単位の通知プロファイルを使用すれば、システムアプリおよび BlackBerry UEM で管理するアプリに対して、通知設定を指定できます。アプリ単位の通知プロファイルは、監視対象 iOS デバイスでサポートされます。

メモ： 影響を受けるアプリが既にユーザーのデバイスにインストールされている場合は、アプリ単位の通知プロファイルをユーザーアカウントに割り当てる必要があります。影響を受けるアプリがインストールされる前にプロファイルが適用されていた場合、ユーザーはアプリの通知をオンにできないことがあります。

アプリごとの通知プロファイルの作成

作業を始める前に： アプリごとの通知プロファイルを割り当てる前に、通知設定を指定するアプリが、ユーザーのデバイスに既にインストールされていることを確認してください。影響を受けるアプリがインストールされる前にプロファイルがデバイスに適用されている場合、ユーザーはアプリの通知をオンにできないことがあります。

1. メニューバーで［ポリシーとプロファイル］をクリックします。
2. ［カスタム］ > ［アプリごとの通知］をクリックします。
3. ＋ をクリックします。
4. プロファイルの名前と説明を入力します。
5. ［アプリごとの通知設定］セクションで、＋ をクリックします。次のいずれかの操作を実行して、通知設定を指定するアプリを指定します。
   - 監視対象アプリリストからアプリを選択するには、［アプリリストからアプリを選択］をクリックします。アプリを検索して選択します。
   - パッケージ ID でアプリを指定するには、［アプリパッケージ **ID** を追加］をクリックします。アプリ名とパッケージ ID を入力します。
6. ［次へ］をクリックします。
7. 組織のサイレントプロファイルと通知設定よりも重要アラートを優先するには、［重要アラートの有効化］をクリックします。この設定は、iOS 12.0 以降のデバイスにのみ適用されます。
8. ［通知］ドロップダウンリストで［有効］をクリックします。
9. 次の通知オプションのいずれかを選択します。
   - 通知センターで表示
   - ロック画面で表示
10. ［通知アラートタイプ］ドロップダウンリストで、次のいずれかのオプションを選択します。
    - ［なし］：デバイスユーザーは通知アラートを受信しません。
    - ［バナー］：デバイスユーザーは、バナーで通知アラートを受信します。
    - ［モーダルアラート］：デバイスユーザーは、モーダル通知アラートを受信します。
11. 次のいずれかの通知アラートオプションを選択します。
    - ［バッジを有効化］：アプリにバッジを表示させるかどうかを指定します。
    - ［音声を有効化］：アプリに音声を再生させるかどうかを指定します。
    - ［**CarPlay** に表示］：通知を CarPlay に表示するかどうかを指定します。この設定は、iOS 12.0 以降のデバイスにのみ適用されます。
12. ［保存］をクリックします。

13.手順 4〜9 を繰り返して、アプリごとの通知を追加します。

14.［追加］をクリックします。

終了したら：

- アプリの通知設定を編集するには、［アプリごとの通知設定］セクションで、アプリの通知設定をクリックし、必要に応じて設定を変更します。
- アプリごとの通知プロファイルを複数作成した場合は、プロファイルをランク付けします。

iOS デバイスの仕事用アプリアイコンの管理

ユーザーが、MDM 制御 アクティベーションタイプで iOS デバイスをアクティベーションすると、デバイス上に仕事用アプリのアイコンが表示されます。ユーザーはこのアイコンをタップして、自身に割り当てられている仕事用アプリを表示することができます。また、必要に応じて仕事用アプリをインストールしたり、更新したりすることができます。

仕事用アプリアイコンの外観をカスタマイズするには、アイコンの画像と名前を選択します。仕事用アプリアイコンのデフォルト名は「仕事用アプリ」です。また、デフォルトのアイコンとして BlackBerry ロゴが表示されます。

仕事用アプリアイコンのカスタマイズ

仕事用アプリアイコンをカスタマイズすると、そのアイコンはアクティベーションされたすべての iOS デバイスで更新されます。

メモ： この機能は、ユーザープライバシーアクティベーションタイプのデバイスではサポートされません。

作業を始める前に： 仕事用アプリアイコンに使用する予定の画像が、以下の要件に適合していることを確認します。

- 画像の形式は、.png、.jpg、または .jpeg にする必要があります。
- 透過型の要素がある .png 画像は使用しないでください。透過型の要素はデバイス上で黒い要素として表示されます。
- 推奨画像サイズの詳細については、developer.apple.com にアクセスして「Icon and Image Sizes（アイコンと画像サイズ）」を参照してください。

1. メニューバーで［設定］をクリックします。
2. 左ペインで、［アプリ管理］を展開します。
3. ［**iOS** の「仕事用アプリ」アプリ］をクリックします。
4. ［名前］フィールドに、カスタムアイコンの名前を入力します。入力した名前は、デバイス上のアイコンの直下に表示されます。
5. ［参照］をクリックします。仕事用アプリアイコンの画像を見つけて選択します。サポートされている画像形式は、.png、-.jpg、または .jpeg です。
6. ［全画面表示モードで「仕事用アプリ」アプリを表示する］を選択すると、ユーザーは通常表示モードから全画面表示モードに仕事用アプリアイコンを切り替えられるようになります。
7. ［保存］をクリックします。

iOS 環境の「仕事用アプリ」アプリの無効化

ユーザーが BlackBerry Dynamics Launcher から仕事用アプリのカタログにアクセスしている場合、「仕事用アプリ」アプリを無効にできます。

1. メニューバーで［設定］をクリックします。
2. 左ペインで、［アプリ管理］を展開します。
3. ［**iOS** の仕事用アプリ］をクリックします。

4. ［「仕事用アプリ」アプリを無効にする］をクリックします。

BlackBerry World の組織名の設定

仕事用会社アプリストア向けの組織名を BlackBerry World に追加できます。

1. メニューバーで［設定］をクリックします。
2. ［アプリ管理］を展開し、［仕事用 **BlackBerry World**］をクリックします。
3. ［組織］に組織の名前を入力します。
4. ［保存］をクリックします。

商標などに関する情報

©2020 BlackBerry Limited. BLACKBERRY、BBM、BES、EMBLEM Design、ATHOC、CYLANCE、SECUSMART などの商標（ただし、これらに限定されるとは限らない）は BlackBerry Limited、その子会社および関連会社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づいて使用され、当該の商標に対する独占権は明確に留保されています。その他すべての商標は各社の所有物です。

本書は、参照用として本書で取り上げるすべての文書（提供される文書または BlackBerry の Web サイトで参照可能な文書）を含めて「現状のまま」または「参照可能な形で」提供されるか、またはアクセスすることができ、BlackBerry Limited およびその関連会社（「BlackBerry」）はいかなる条件付け、承認、表明、または保証もしないものとし、BlackBerry は本書の誤記、技術的な誤りまたはその他の誤り、エラー、遺漏について何ら責任を負いません。BlackBerry の所有権、機密情報および/または企業秘密を保護するため、本書では一部の BlackBerry テクノロジの側面を一般化された用語で記述している場合があります。BlackBerry は、本書に含まれる情報を定期的に変更する権利を留保します。ただし、BlackBerry には、本書への変更、更新、拡張、または他の追加を適時ユーザーに提供する義務はないものとします。

本書は、第三者をソースとする情報、ハードウェアまたはソフトウェア、製品またはサービス（コンポーネントや、著作権保護されたコンテンツなど）、および/または第三者の Web サイト（これらをまとめて「サードパーティ製品およびサービス」という）への参照を含んでいる可能性があります。BlackBerry は、サードパーティ製品およびサービスの内容、正確性、著作権遵守、互換性、性能、信頼性、適法性、品格、リンク、他の側面などに限定することなく、サードパーティ製品およびサービスを一切管理することはなく、責任も負いません。本書においてサードパーティ製品およびサービスを参照することは、BlackBerry がサードパーティ製品およびサービスまたは第三者を保証することを意味するものではありません。

該当する司法管轄地域の適用法で明確に禁じられている場合を除き、本書で参照されているソフトウェア、ハードウェア、サービス、またはサードパーティ製品およびサービスについて、耐久性、特定の目的または使用に対する適合、商品性、適性品質、権利侵害の不存在、品質満足度、権原、または制定法、慣習法、取引過程、商慣習から生じる、本書またはその使用に関する、または性能または性能の不履行に関する条件付け、承認、表明、保証などに限定することなく、明示的または黙示的に、いかなる条件付け、承認、表明、または保証も除外されます。ユーザーは、国や地域によって異なる他の権利を有する場合もあります。一部の司法管轄地域では、黙示的な保証および条件の除外事項または限定事項は禁止されています。法律で認められている範囲で、本書に関連する黙示的な保証または条件は、上記に定めるように除外できないが限定できる場合、ユーザーが本書または該当する対象物を初めて入手してから 90 日間に限定されます。

該当する司法管轄地域の適用法で認められている最大限の範囲で、本書またはその使用に関連して、または本書で参照されているソフトウェア、ハードウェア、サービス、またはサードパーティ製品およびサービスの性能または性能の不履行に関連して、直接的、必然的、典型的、偶発的、間接的、特殊的、懲罰的、または加重的損害、金銭的損失による損害（利益または収益の損失、予想される貯蓄の未達成、事業の中断、ビジネス情報の消失、ビジネス機会の喪失、データの破損または消失、データの送受信の失敗、BlackBerry 製品またはサービスと併用したアプリケーションに関連する問題、ダウンタイムコスト、BlackBerry 製品またはサービスあるいはその一部の使用機会や通信サービスの使用機会の喪失、代替品コスト、保険料、設備費、保守費、資本コストなど）に限定することなく、損害を予想できたかどうかを問わず、BlackBerry が損害の可能性について勧告を受けていた場合を含め、いかなる場合においても、BlackBerry はいかなる損害の責任も負わないものとします。

該当する司法管轄地域の適用法で認められている最大限の範囲で、契約、不法行為、またはユーザーに対する過失責任または厳格責任について、BlackBerry は他のいかなる義務、責務、または責任も負わないものとします。

本書の限定事項、除外事項、および免責事項は、（A）訴訟原因、請求、またはユーザーによる行為（契約違反、過失、不法行為、厳格責任、その他の法理論など）の性質に関係なく、この契約の基本目的または本書に記載されている救済策の根本的違反または不履行を免れるため、（B）BlackBerry およびその関連会社、その後継

者、譲受人、代理業者、納入業者（通信事業者を含む）、認可された BlackBerry 販売業者（通信事業者を含む）およびその取締役、従業員、および請負業者に適用されます。

上記に定める限定事項および除外事項に加えて、いかなる場合においても、BlackBerry の取締役、従業員、代理業者、販売業者、納入業者、請負業者または BlackBerry の関連会社は、本書に起因または関連する責任を負わないものとします。

ユーザーは、サードパーティ製品およびサービスの加入、インストール、または使用前に、通信事業者がサードパーティ製品およびサービスのすべての機能をサポートすることに同意していることを確認する責任を負います。一部の通信事業者は、BlackBerry® Internet Service への加入によるインターネット閲覧機能を提供しない場合があります。サービスの利用、ローミング、サービスプラン、その他の機能については、通信事業者に問い合わせてください。BlackBerry 製品およびサービスにおけるサードパーティ製品およびサービスのインストールまたは使用には、第三者の権利を侵害または妨害しないように、特許、商標、著作権、または他のライセンスが必要になる場合があります。ユーザーは、サードパーティ製品およびサービスを使用するかどうかを決定し、使用するためにサードパーティライセンスが必要かどうかを確認する責任を負います。必要な場合、ユーザーはライセンスを取得する責任を負います。ユーザーは、必要なライセンスをすべて取得するまで、サードパーティ製品およびサービスをインストールまたは使用してはなりません。BlackBerry 製品およびサービスで提供されるサードパーティ製品およびサービスは、ユーザーの便宜のために「現状のまま」提供され、BlackBerry は明示的にも黙示的にもいかなる条件付け、承認、表明、または保証もしないものとし、BlackBerry はそれに関連するいかなる責任も負わないものとします。ユーザーによるサードパーティ製品およびサービスの使用は、ライセンスまたは BlackBerry との他の契約で明示的に対象になっている場合を除き、個別のライセンスおよび第三者との他の該当契約の条件に従うものとし、その制約を受けるものとします。

BlackBerry 製品またはサービスの使用条件は、個別のライセンスまたは BlackBerry との他の該当契約に定められています。本書の内容は、本書以外に BlackBerry 製品またはサービスの一部に対して BlackBerry が提供した文書による明示的な契約または保証を破棄するものではありません。

BlackBerry Enterprise Software には、特定のサードパーティ製ソフトウェアが組み込まれています。このソフトウェアに関連するライセンスおよび著作権情報は、http://worldwide.blackberry.com/legal/thirdpartysoftware.jsp でご確認いただけます。

BlackBerry Limited
2200 University Avenue East
Waterloo, Ontario
Canada N2K 0A7

BlackBerry UK Limited
Ground Floor, The Pearce Building, West Street,
Maidenhead, Berkshire SL6 1RL
United Kingdom

Published in Canada